

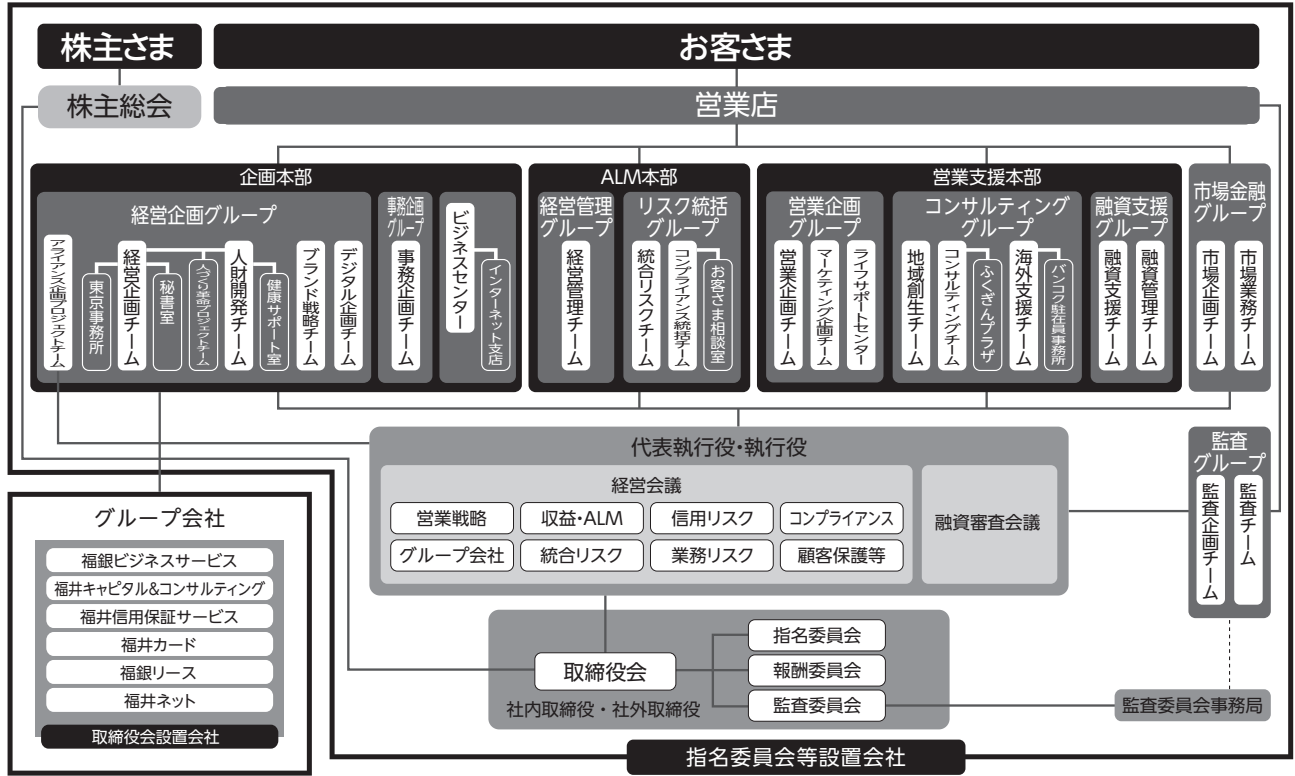
プロフィール (2020年3月末日現在)

名称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)	店 舗	有人店舗数 79か店 店舗内店舗数 16か所 その他 3か所 合計 98か所
本店の所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号 電話 0776 (24) 2030 (代表) URL https://www.fukuibank.co.jp/		※店舗内店舗：他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他：振込専用支店、ジュラチック王国支店（インターネット支店）、小浜支店名田庄営業室（毎週水曜日（休祝日除く）のみ営業）
設立年月日	1899年12月19日	店舗外自動機設備	125か所 (ATM運営会社・セブン銀行・ローソン銀行との共同設置を除く)
資本金	179億65百万円		
従業員数	1,366名 (出向者、嘱託および臨時職員含めず)		

主要な業務の内容

<p>●預金業務</p> <p>預 金…当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、財形預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。</p> <p>譲渡性預金…譲渡可能な定期預金を取り扱っております。</p> <p>●貸出業務</p> <p>貸 付…手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。</p> <p>手形の割引…商業手形、銀行引受手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。</p> <p>電子記録債権の割引</p> <p>●商品有価証券売買業務</p> <p>…国債等公共債の売買業務を行っております。</p> <p>●有価証券投資業務</p> <p>…預金の支払準備及び資金運用のための国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。</p> <p>●内国為替業務</p> <p>…送金為替、振込及び代金取立等を取り扱っております。</p> <p>●外国為替業務</p> <p>…輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。</p> <p>●社債受託及び発行・支払代理人業務</p> <p>…担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び発行・支払代理人に関する業務を行っております。</p>	<p>●付帯業務 代理業務</p> <p>…①日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店及び国債代理店業務 ②地方公共団体の公金取扱い業務 ③勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ④株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ⑤日本政策金融公庫及び住宅金融支援機構等の代理貸付業務 ⑥信託代理店業務 ⑦保険代理店業務</p> <p>保護預り及び貸金庫業務 有価証券の貸付 債務の保証（支払承諾） 金の売買 公共債の引受 国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売 保険の窓口販売 クレジットカード業務 コマース・ペーパー等の取扱い 金融商品仲介業務 M&A関連業務 確定拠出年金の運営管理機関業務 金利・通貨等のデリバティブ取引 相続関連サービスの媒介</p>
---	---

組織図 (2020年3月末日現在)



グループ会社 (2020年3月末日現在)

福井銀行グループは福井銀行及び連結子会社6社で構成され、銀行業務を中心にリースやEB商品などの様々な金融機能の充実を図り、地域のみなさまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めております。

当行及び当行の関係会社の事業に係る位置付けは次のとおりであります。

〔銀行業〕

当行の本店、支店、出張所の98か店において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、外国為替業務、国債・投資信託・個人年金保険等の販売業務等を行い、地域の金融パートナーとして、様々な商品・金融サービスの提供に積極的に取り組んでおり、当行グループの中心的業務と位置付けております。

また、連結子会社の福銀ビジネスサービス株式会社、福井信用保証サービス株式会社、株式会社福井カード、株式会社福井キャピタル&コンサルティングにおいても、銀行事務代行業務、保証業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務、投資事業組合財産の管理・運営業務等の銀行業務を展開しております。

〔リース業〕

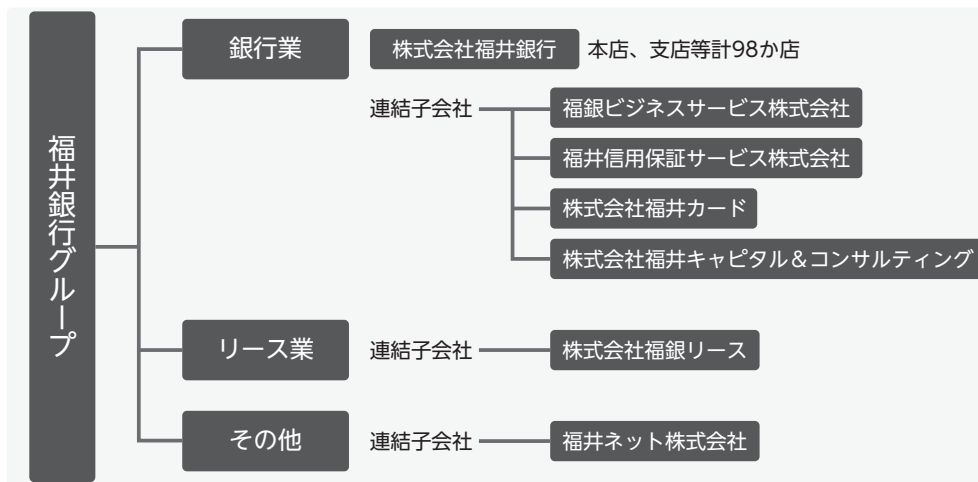
連結子会社の株式会社福銀リースにおいてリース業務を行っております。

〔その他〕

連結子会社の福井ネット株式会社において当行のコンピュータ関連業務を行っており、当行グループの金融サービスの充実を担っております。

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。

●事業系統図



●グループ会社の概況

名 称	所 在 地	資本金 (百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の 所有割合 (%)	名 称	所 在 地	資本金 (百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の 所有割合 (%)
福銀ビジネスサービス (株)	福井市今市町第66号7番地1	10	現金整理及び現金自動設備の保守管理業務	1986年12月11日	100.00	(株) 福井カード	福井市順化1丁目2番3号	30	クレジットカード業務	1986年8月5日	100.00
(株) 福井キャピタル&コンサルティング	福井市花堂南2丁目16番75号	50	ベンチャーキャピタル業務 コンサルティング業務	2015年7月1日	100.00	(株) 福銀リース	福井市照手1丁目2番17号	50	リース業務	1983年9月16日	100.00
福井信用保証サービス (株)	福井市春山2丁目3番10号	50	住宅ローン等の保証業務	1982年11月6日	100.00	福井ネット (株)	福井市春日町238番3号	40	コンピュータ関連業務	1997年4月21日	100.00

安心と信頼

みなさまから安心・信頼される銀行をめざして ————— 福井銀行の実績と取組み

内部統制の整備の状況

福井銀行では、取締役会において、会社法に基づく業務の適正を確保する体制として、監査委員会の職務執行のために必要な事項、執行役の職務執行の適法性・適正性を確保するために必要な体制等について決議し、内部統制を確保する体制を整備しております。

また、金融商品取引法で求められる財務報告に係る内部統制については、「財務報告に係る内部統制の基本方針」及び「財務報告に係る内部統制規程」を制定し、財務報告の信頼性の確保に努めております。なお、2020年3月末時点における当行の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

コンプライアンス（法令等遵守）体制

コンプライアンス基本方針

福井銀行では、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底を最重要施策と位置付け、「コンプライアンス基本方針（5つの原則）」を取締役会にて決定し、確固たる「コンプライアンス態勢」の維持向上に積極的に取り組むことを企業文化としております。

- 「コンプライアンス基本方針」
- 1. 自己コントロール能力向上の原則
- 2. 情報開示の原則
- 3. 透明で適正な意思決定の原則
- 4. お客さま本位の営業の原則
- 5. 反社会的勢力との断固対決の原則

コンプライアンス体制

頭取を統括責任者とし、「経営会議」において重要事項の審議、決定及び報告を行うとともに、コンプライアンス態勢の実効性を評価し、問題点等を改善しております。

また、コンプライアンス体制を規定し、守るべき法令や行動規範及び対応等を「コンプライアンスマニュアル」に示し、「コンプライアンス・プログラム（具体的な実践計画）」を毎年策定し実践しております。

具体的な取組み

営業店・本部の全部署にコンプライアンス責任者・担当者を任命し、全職員に対してコンプライアンスチェックリストによる遵守状況の自己検証、コンプライアンス責任者・担当者による個人面談と勉強会を定例的に実施し、コンプライアンス意識の醸成と向上を目指した取組みを行っております。

リスク統括グループコンプライアンス統括チームを統括部署として、コンプライアンスに関する情報の一元管理を行い、コンプライアンス違反の未然防止と態勢の強化を図っております。

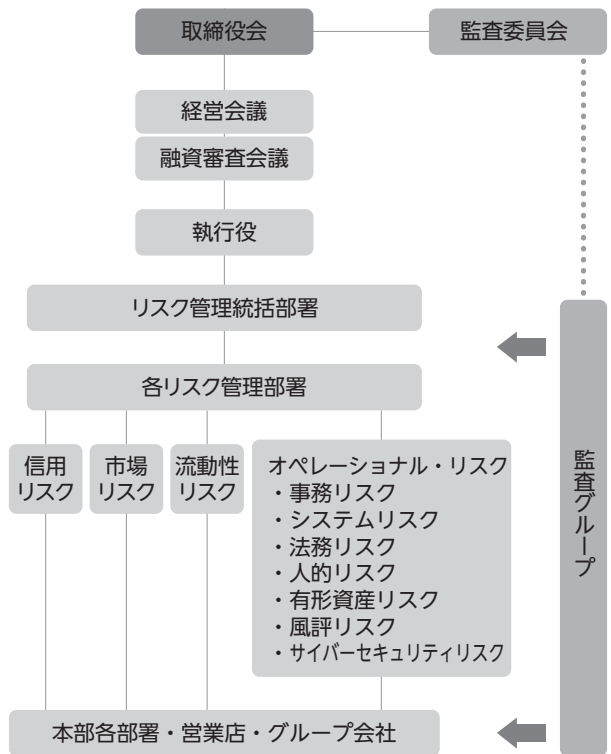
また、公益通報者保護法に則った「相談・報告制度」を整備し、行内窓口以外にも顧問弁護士による外部の通報窓口やハラスメント相談窓口を設置することで、組織の自浄機能を高めております。

さらに、暴力団をはじめとする反社会的勢力との関係遮断や取引解消を行っていくことやマネー・ローンダリング等を防止していくことは、企業としての社会的責任を果たし、また、各ステークホルダーからの信頼を維持し、経営の健全性を確保していくためには必要不可欠なものと考え、「内部統制システムの基本方針」及び「コンプライアンス基本方針」等に基づき、反社会的勢力への各種対応やマネー・ローンダリング等防止にかかる各種対策を実施しております。

顧客保護管理態勢については、基本方針に則り、お客さまの保護及び利便性向上の重要性を十分踏まえたうえで、お客さまが安心してお取引いただけるよう、管理態勢の強化を図っております。また、従来よりお客さまのための店舗や設備の改善などの対応を継続的に行ってまいりましたが、2016年4月の障害者差別解消法の施行を受け、設備面だけでなく、相談窓口の設置や行員への継続的な研修・啓蒙等を通じて、社会的障壁の除去への配慮に努めてまいります。

リスク管理体制

金融情勢が変化し、銀行が抱える各種リスクも多様化・複雑化するなか、経営の健全性及び収益の安定性を確保していくために、福井銀行はリスク管理態勢の強化を重要な経営課題として位置付け、継続的に態勢整備を実施しております。具体的にはリスクの統括部署及びリスクカテゴリーごとにリスク管理部署を設置し、管理プロセスを確立させ、継続的かつ効果的なリスク管理を実施しております。



リスク管理の基本方針

福井銀行では、取締役会で決定した「リスク管理の基本方針」に、以下の基本方針を定めております。

当行は、収益機会の獲得及び拡大につながるリスクを適切にとりながら収益力の強化に努めると同時に、経営体力を損ねることのなきよう適切なリスク管理に努め、地域における金融システムの担い手として健全かつ収益力の高い経営を行わなければならない。

その実現のために、個々のリスク管理の態勢整備に加え、それらを統合的に把握し管理する統合的リスク管理の態勢整備を行うことを通じて、業務の健全性及び適切性の確保を行うことをリスク管理の基本方針とする。

統合的リスク管理

「統合的リスク管理」とは、各種業務で発生する様々なリスクをその要因別に「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」「オペレーショナル・リスク」等のカテゴリー毎に評価し、それらを総体的に捉えたうえで、経営体力と比較・対照することで自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

福井銀行では、VaR（バリュー・アット・リスク）を用いて各リスクを計量化し評価・コントロールする「量的管理」と、VaRに依らない個別の方法で各リスクを質的に評価・コントロールする「質的管理」の両方を行うことで、統合的なリスク管理を行う態勢を整えております。

「量的管理」では、リスク資本制度に基づいて「経営会議」でリスクカテゴリー別に配賦する資本額（リスク資本）の決議を行い、その範囲内にそれぞれのリスク量（VaR）をコントロールすること

で、全体のリスクを経営体力の範囲内におさめる「統合リスク管理」の手法を用いております。

なお、金利リスクは一般的には市場リスクの中に含まれるものですが、福井銀行ではその運用・調達目的の違いを考慮し、有価証券勘定の金利リスクと預貸金勘定の金利リスクに分けた管理を行い、預貸金勘定の金利リスクは独立してリスク資本を配賦する方法を採用しております。

信用リスク管理

「信用リスク」とは、信用供与先の信用状況の悪化により、銀行の資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

福井銀行では、信用リスクは業務運営において不可避のリスクであり、かつ迅速な対応が必要であることを十分認識した上で、信用リスクをコントロールできる態勢を築くことを目指しております。とりわけ、与信集中リスクについては、信用リスクの集中を回避し、バランスのとれた与信ポートフォリオを構築するため、「与信集中リスク管理基準」を制定し、与信集中リスクの把握・改善に取り組んでおります。

また、信用供与にかかるリスクを客観的かつ計量的に把握するため、「信用リスク計測基準」を制定し「信用リスクの計量化」に取り組んでおります。

なお、計測した信用リスク量については信用格付別・業種別・地域別などの信用リスクの状況を評価・分析するとともに、「リスク資本制度」のもとでリスク量による量的な管理、コントロールを行っております。

市場リスク管理

「市場リスク」とは、金利、為替、株式等のさまざまな市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいい、主として「金利リスク」「為替リスク」「価格変動リスク」があります。

福井銀行では、市場リスク管理をALM（資産・負債の総合的管理）の一環として位置付け、自己資本、収益力、預貸動向や有価証券保有状況等を踏まえたうえで、リスクとリターンのバランスを適切に保つことを方針としております。

具体的には、預金、貸出金、有価証券等の資産・負債について銀行勘定の金利リスクに基づき、金利リスク量をコントロールしております。市場投資部門における市場リスクについては、半期毎に「経営会議」において「有価証券運用計画」を審議したうえで、ポジション枠や損失限度を設定することで市場リスク量を一定の範囲内にコントロールしております。

また、市場関連取引の相互牽制のために、市場リスクの管理部署（ミドル・オフィス）は、フロント・オフィス、バック・オフィスとは組織的に分離し、日次でリスクの状況をモニタリングしております。

流動性リスク管理

「流動性リスク」には、①運用と調達の期間のミスマッチや予期せぬ資金の流出により必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクである「資金繰りリスク」、②市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることにより、損失を被るリスクである「市場流動性リスク」、③対外決済において資金または資産を予定通り受け取れなくなることにより損失を被るリスクである「決済リスク」が含まれます。

流動性リスクは、これら資金繰りリスク、市場流動性リスク、決済リスクの3つのリスクを総合したリスクですが、市場流動性リスク、決済リスクは最終的に資金繰りリスクに帰結するものであり、資金繰りリスクの管理が重要な経営課題であると捉えております。

福井銀行では、組織的に独立したフロント・オフィス、バック・オフィス、ミドル・オフィスを設置することで、相互牽制を図りながら資金繰りリスクの管理を行っております。

具体的には、資金繰りの状況に応じて、「平常時」「懸念時」「危機時」の区分を設定し、それぞれの区分に応じた管理手法、報告体制、決裁方法を整備しております。また、短期間で資金化可能な資産を一定額以上確保する流動性準備高の管理を通じたモニタリングを行っております。

オペレーショナル・リスク管理

「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務のプロセス、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または、外部で発生した出来事等により、損失を被るリスクをいいます。

福井銀行では、オペレーショナル・リスクを①事務リスク、②システムリスク、③法務リスク、④人的リスク、⑤有形資産リスク、⑥風評リスク、⑦サイバーセキュリティリスクの7つに分類して管理しております。

福井銀行では、オペレーショナル・リスクの増加が、銀行業務の堅韌性を低下させ、ひいては株主のみならず、お客さまの福井銀行への信頼を低下させるものであるとの認識に立ち、リスク発生時の未然防止及び発生時の影響極小化に努めております。

なお、オペレーショナル・リスク相当額の算出には「粗利益配分手法」を採用しております。

<事務リスク管理>

「事務リスク」とは、福井銀行の役職員が正確な事務を怠ること、あるいは事務処理の遂行の過程で不正行為を犯すことや事故を起こすことにより、損失を被るリスクをいいます。

福井銀行では、事務管理態勢の充実強化を図り、厳正に事務を行うための内部環境の整備に取り組んでおります。

具体的には、以下のような枠組みにより事務リスクの管理を行っております。事務ミス情報、事務事故情報、内外監査等の指摘内容、CSA（Control Self Assessment）の実施、及びリスクに関する主な指標の収集を行い、傾向分析、原因分析を行っております。分析結果に基づき、リスク軽減のための対策を検討し、事務フロー・事務処理規程・事務体制面の見直し、事務指導臨店、自店検査、教育・研修、事務機器の整備、システム化、営業店事務の本部集中化、ルール遵守の徹底などを行っております。

事務リスクの管理状況については、オペレーショナル・リスクの総合的管理部署、担当執行役及び経営会議等に報告しております。

<システムリスク管理>

「システムリスク」とは、コンピュータシステムのダウンまたは誤作動等システムの不備等に伴い損失を被るリスク、コンピュータシステムが不正に使用されることにより損失を被るリスクをいいます。

お客さまに質の高い金融サービスを提供していくためには、これらのシステムリスクを回避し、コンピュータシステムを安全かつ安定して稼働させることが必要不可欠であり、福井銀行では、コンピュータシステムと保有する情報の適切な保護に努めております。

具体的には、主要機器及びネットワークに関しては常時稼働監視を行っており、障害発生時には自動的にバックアップに切替えるなど、ソフト面ハード面の両面での対応を実施しております。

今後も情報技術の高度化やネットワークの拡大に伴い、システムリスクの多様化・複雑化が予想されますが、引き続き適切な対策を講じることにより、コンピュータシステムの安全で安定した稼働に努めてまいります。

<法務リスク管理>

「法務リスク」とは、法令等の遵守状況や顧客保護等が十分でないことにより損失を被るリスク、訴訟等への対応が不十分なことにより損失を被るリスク、及びこれに類するリスクを指します。

福井銀行では、法令等遵守態勢の整備、お客さまからのご意見を適時・適切に反映させる仕組みを通じた顧客保護等管理態勢の整備と、これら態勢整備にかかる検証を通して、態勢不備に起因する事象、損失、損害の迅速かつ適切な把握・分析を行い、法務リスクの削減に努めております。

<人的リスク管理>

「人的リスク」とは、報酬・手当・解雇等、人事運営上の不公平・不公正から発生する問題により、損失・損害を被るリスクを指します。

福井銀行では、人事運営上の不公平・不公正に基づく問題が発生することがなきよう、労務関連法規・法令を踏まえた人事制度の設定及び運用を通して、労務管理・人員配置・研修・教育を継続的に実施し、人的リスクの削減に努めております。

<有形資産リスク管理>

「有形資産リスク」とは、地震、豪雨、豪雪などの災害等により、有形資産に毀損・損害が生じるリスクを指します。

福井銀行では、災害等に起因する損害を最小限に抑えるために、内外の情報に基づき災害等の有形資産への影響を把握・分析することに努め、適切な保守・投資を継続的に実施し、資産の耐久性を保持することで、有形資産リスクの削減に努めております。

<風評リスク管理>

「風評リスク」とは、評判の悪化や風説の流布などで信用が低下することにより、損失・損害が生じるリスクを指します。

福井銀行では、適切な情報開示の実施により経営の透明性を確保するとともに、本部と営業店との間の迅速な指示・連絡体制の確立を通して、風評リスクの削減に努めております。

<サイバーセキュリティリスク管理>

「サイバーセキュリティリスク」とは、情報通信ネットワークや情報システム等の悪用により、サイバー空間を経由して行われる不正侵入、情報の窃取、改ざんや破壊、情報システムの作動停止や誤作動、不正プログラムの実行やDDoS 攻撃等の、いわゆる「サイバー攻撃」により、サイバーセキュリティが脅かされるリスクをいいます。

福井銀行では、サイバー攻撃によるお客さまへの被害を防止し、安定したサービスを提供するため、サイバーセキュリティ管理態勢を構築し、サイバー攻撃に備えたセキュリティ対策、及びサイバー攻撃を受けた場合の被害の拡大防止に努めてまいります。

危機管理計画

銀行は、金融サービスの提供という社会機能維持に関わる事業者としての使命を有しております。福井銀行では、大規模災害等の危機発生時において、金融システム機能の維持に必要な業務の継続や早期再開を可能とするため、「危機管理計画」を策定しております。「危機管理計画」では、「常に人道的配慮を最優先に考えて行動する」「金融システムの維持に努めることにより、金融機関としての社会的責任を果たす」「地域社会や地域経済の早期の安定と回復に貢献する」ことを基本理念に掲げ、必要な体制整備を行うと同時に、定期的な訓練を実施するなど危機対応力の強化に努めております。

金融商品勧誘方針

福井銀行では様々な取扱金融商品の勧誘・販売にあたり、金融商品販売業者として遵守すべき「金融商品勧誘方針」を定め、店頭・ホームページに公表しております。

より一層のお客さまの福井銀行に対する信頼と金融商品に対するご理解をいただけるよう、「金融商品勧誘方針」を遵守した営業に努めております。

- わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産の状況に照らし、また、お客さまの投資目的、運用期間などを十分考慮のうえ、適切な商品をお勧めいたします。
- わたしたちは、お客さまとお取引を行う際には、商品内容やリスク内容等について適切な説明や情報の提供に努め、不確実な事項について断定的判断を提供することや確実であると誤認させるおそれのあるような説明はいたしません。

- わたしたちは、お客さまの誤解を招くような勧誘や、不退去などの迷惑行為を行いません。また、お客さまの希望や理解がない限り、お客さまにご迷惑となる時間帯や場所での勧誘を行いません。

- わたしたちは、お客さまに対して適正な勧誘を行うため、行内研修体制を充実させ、商品知識の研鑽に努めます。

お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口または下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

保険募集指針

福井銀行では、お客さまの幅広いニーズにお応えしていくために、生命保険・損害保険の取扱いを行っております。

お客さまに対して保険商品をお勧めする場合には、各種法令等を遵守し、公正な保険募集に努めております。

<1. 当行が募集を行う保険商品について>

- 当行が保険募集を行う際には、保険商品の引受保険会社名をお客さまに明示いたします。
- お客さまにお勧めする保険商品と同一種目の保険商品を当行が複数取扱いしている場合には、その商品名称や引受保険会社名についての情報を当該保険の保険募集時にご提供いたします。
- 保険契約はお客さまと保険会社とのご契約となることから、保険契約の引受や保険金等の支払は、保険会社が行うこと等を保険募集時に説明いたします。
- 引受保険会社が経営破綻した場合の取扱い等保険契約に関するリスクについても、保険募集時に説明いたします。

<2. 保険募集に関する当行の責任について>

- 当行では、保険募集に際しては、各種法令や監督指針等の遵守に努めております。
- 万一、説明義務違反等の法令等に違反する保険募集を行ったことにより、お客さまに損害が生じた場合には、当行が募集代理店としての販売責任を負います。

<3. ご契約後の当行対応について>

- 当行は、お客さまからの契約内容のご照会、保険募集に関する苦情・相談に対し、迅速かつ適切に対応いたします。
- ご相談の内容につきましては、当該保険契約の引受保険会社に連絡のうえ対応させていただく場合があります。また、保険金等の支払手続きに関する照会等を含む各種手続き方法につきましては、引受保険会社のコールセンター等をご案内させていただく場合があります。
- 保険募集時のご説明内容やご契約締結後におけるお客さまからの苦情・ご相談に関する面談記録等をご契約期間中にわたって適切に管理し、お客さまのご要望にお応えできるよう努めて参ります。
- お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口または下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

- 募集代理店である当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関は、一般社団法人全国銀行協会です。

連絡先 全国銀行協会相談室
電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

利益相反管理基本方針

福井銀行では、福井銀行または福井銀行のグループ会社による取引に伴いお客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理基本方針」を定め、利益相反の管理を適切に行っております。「利益相反管理基本方針」の概要は店頭・ホームページに公表しております。

契約している銀行法上の指定紛争解決機関

福井銀行では、銀行に対するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付ける下記の銀行法上の指定紛争解決機関と契約しております。

一般社団法人全国銀行協会
 連絡先 全国銀行協会相談室
 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

お客さま本位の基本方針

福井銀行は、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念として掲げており、この理念の実現のために、お客さまを大切に思い、誠実に行動することを表明しております。

この企業理念のもと、私たちがお客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において「お客さま本位の基本方針」（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

- 1.お客さま本位の業務運営の堅持
基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。
- 2.お客さまの最善の利益の追求
金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、私たちの企業理念に基づきお客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。
- 3.お客さまの最善の利益の優先の確保
お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。
- 4.お客さまからいただく手数料等の明確化
金融商品の取り扱いにおいてお客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その手数料等の詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明することに努めます。
- 5.お客さまのための重要な情報の分かりやすいご提供
お客さま本位の業務運営を実践するにあたっては、金融商品やサービスにおける基本的な利益や損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件、ご提案する金融商品やサービスの選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明しご提供することに努めます。
- 6.お客さまにふさわしいサービスのご提供
お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが真にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、アフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。
また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。
- 7.お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり
私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

反社会的勢力との隔絶宣言

福井銀行グループは、反社会的勢力に対して毅然とした態度で臨み、決して妥協しないことを基本姿勢として、全役職員がこれを遵守します。

- 1.反社会的勢力に対しては、一切の関係・取引を遮断します。
- 2.反社会的勢力からの不当要求に対しては、すべて拒絶します。
- 3.反社会的勢力に対しては、警察等の外部専門機関と連携し、組織一体となって対応します。
- 4.反社会的勢力に対しては、民事・刑事の法的対応も辞さない毅然とした対応を行います。

また、次の行為に関しては、常にその行為を厳しく監視し、これらの行為があった場合には直ちに警察へ通報いたします。

- 1.脅迫または威圧による要求行為
- 2.反社会的勢力またはこれを背景とした者による執拗な要求行為
- 3.面接、交渉等を拒絶してもなお退去しない行為
- 4.その他の強要、あるいはそれに準じる行為

地域密着型金融への取組み

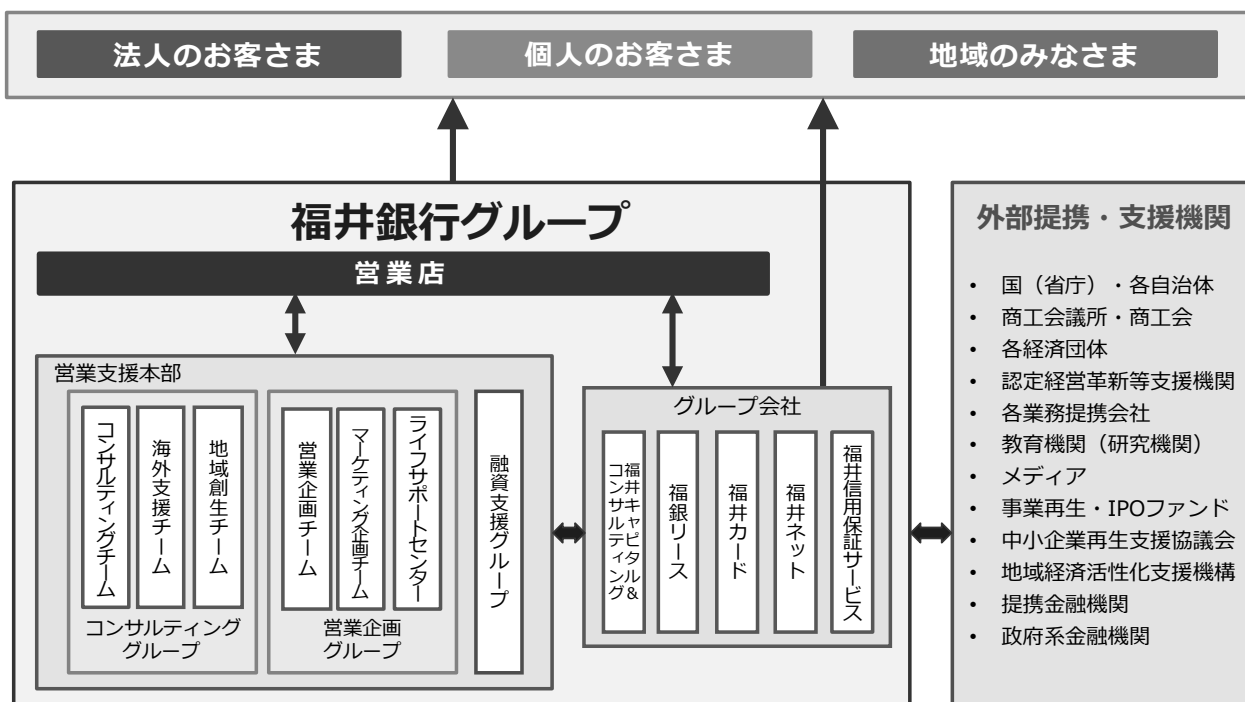
福井銀行の地域密着型金融推進の取組方針は、当行の企業理念『地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現』そのものであり、役職員に深く浸透しております。

2018年4月よりスタートした中期経営計画『企業理念』の実現に向けて（第1章）～より早く、より深く、より広く～のもと、地域金融機関として、コンサルティング機能を強化し、地域やお客さまの課題解決とさらなる成長、資産形成のお手伝いをすることにより、地域の『働く場所』『働く人』をふやすことが、“地域の活性化”すなわち“企業理念”の実現につながるものと位置付け、地域密着型金融に取り組んでまいります。

地域密着型金融の推進に向けた態勢整備の状況

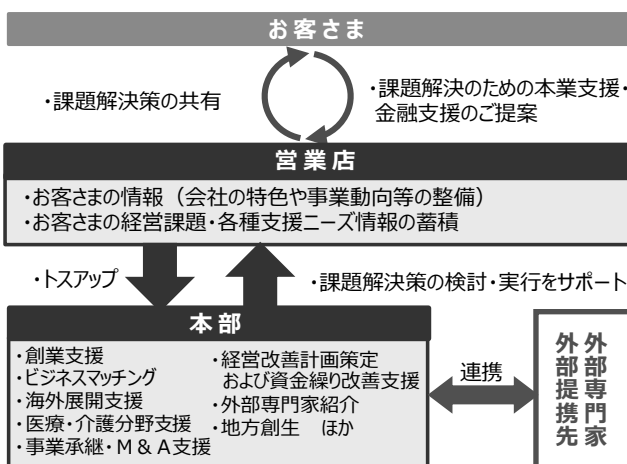
2018年4月より本部に設置した「コンサルティンググループ」をはじめとする営業支援本部とグループ会社5社、営業店がグループ一体となって地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

また、外部提携・支援機関等との幅広いネットワークの活用など質の高いサービスを提供する態勢を構築し、それぞれの持つ強みやノウハウを融合し、お客さまが抱えるニーズや課題解決をサポートしております。



法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮 ～事業性理解への取組み～

企業理念「地域産業の育成・発展」の実現に向け、当行は、お客さまとの日々のリレーション強化を通じ、ビジネスモデルの深掘りから経営課題や事業ニーズの把握に取り組んでおります。お客さまの経営課題を営業店と本部が共有・連携し、課題解決のための最適な本業支援、金融支援に努めてまいります。



事業性理解に基づく融資を行っている与信先数・融資残高

与信先数（単体ベース）	10,325 先 前期比+ 424 先
融資残高	7,643 億円 前期比+ 267 億円

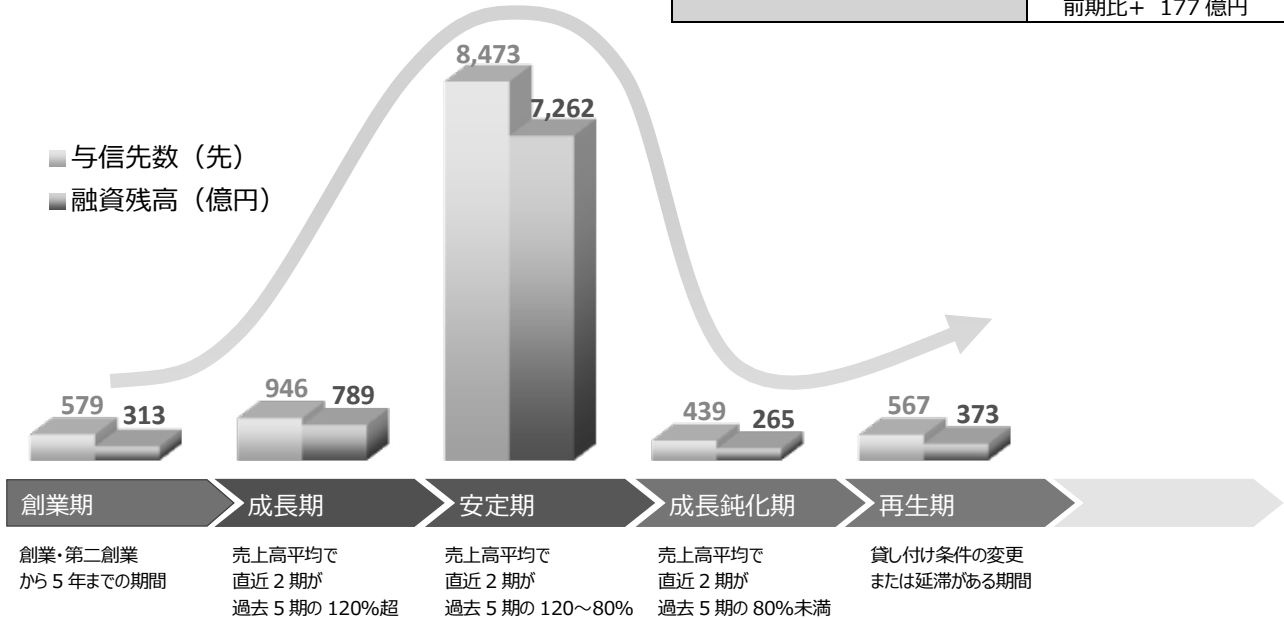
(2020年3月末)

ライフステージ別支援

お客さま個々の状況に応じた最適なコンサルティングをめざし、事業性理解への取組方針に基づくライフステージ別支援を継続的に進めてまいります。

ライフステージ別の与信先数および融資残高 (2020年3月末)

全与信先	11,004 先 前期比+ 287 先
融資残高	9,005 億円 前期比+ 177 億円



創業・新事業開拓支援

創業期のお客さまには、専用融資商品の導入、グループ会社や外部機関との連携、セミナー開催を通じた情報提供などにより、支援の強化に取り組んでまいります。

●「創業応援サービスパック」の取扱開始

2019年10月、当行グループおよび業務提携先のサービスをパッケージ化した「創業応援サービスパック」の取扱いを開始しました。創業期よりお役立ていただける商品・サービスを優遇特典つきでパッケージ化し、会計・決済業務や店舗設備などのさまざまなニーズに対し、ワンストップでサポートします。

●日本政策金融公庫（国民生活事業）との創業支援スキーム「W-ing（ウイング）」

2017年9月に日本政策金融公庫福井、武生両支店（国民生活事業）と連携して、福井県内の創業者を対象とした協調支援スキーム「W-ing（ウイング）」を創設しました。創業をお考えのお客さまの相談にワンストップで応じ、事業計画の策定から資金支援までを協調して行い、創業後も事業成長に向けたフォローアップを継続して行います。

創業支援先数

創業支援先数	275 先 前期比▲ 28 先 (2019年度中)
--------	---------------------------------

創業応援サービスパック

創業応援サービスパック	18 件 (2019年度中)
-------------	-------------------

W-ing（ウイング）取組先数

W-ing（ウイング）取組先数	9 先 前期比▲ 6 先 (2019年度中)
-----------------	------------------------------

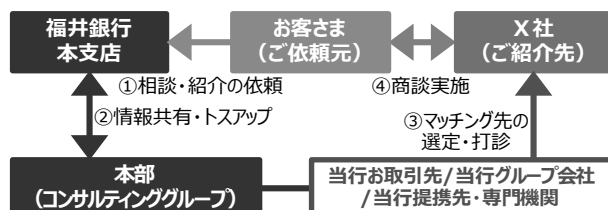
成長支援

成長期、安定期、成長鈍化期のお客さまには、国内外の商談会やセミナーの開催を通じたビジネスマッチングの機会や情報の提供、グループ会社や外部機関とのネットワークを活用したビジネスソリューションの提供、専担当部署の帯同訪問や情報提供による海外ビジネスサポートなどにより、支援の強化に取り組んでまいります。

①ビジネスマッチング

本部コンサルティンググループの専門担当がお客さまのニーズに対し、最適なマッチング先を選定し、ご紹介から商談成立まで営業店と一体となってサポートしております。

ソリューション提案を行った先数	2,441 先 前期比+ 213 先 (2019 年度中)
-----------------	--



②商談会開催による販路開拓

「百貨店」や「高速道路サービスエリア」、「福井の食」など、様々なテーマ・目的での商談会を開催し、お客さまの商品の PR や大手企業・多数の業者との商談の場の創出に取り組んでおります。

●地方銀行フードセレクションを開催

2019 年 9 月「地方銀行フードセレクション 2019」を開催し、10 先のお客さまが参加されました。本商談会は主催する全国の地方銀行が取引先の販路拡大に向けた支援や食関連産業の育成支援を行う、国内最大級の商談会です。今後も、様々な商談会を通じて、福井県の素晴らしい地域食材を全国の食品バイヤーへ PR する機会を提供してまいります。

2019 年度中に開催・参加した商談会参加先数	のべ 92 先
2019 年 5 月	六ツ星観光プロジェクト JR 西日本グループ商談会 in 福井
7 月	三越伊勢丹バイヤーミーティング 2019
8 月	六ツ星観光プロジェクト JR 西日本グループ商談会 in 富山
9 月	第 14 回地方銀行フードセレクション 2019
10 月	第 10 回ネットワーク商談 IN 大阪
12 月	中部国際空港「空の酒蔵」個別商談会
2020 年 1 月	六ツ星観光プロジェクト JR 西日本グループ商談会 in 石川

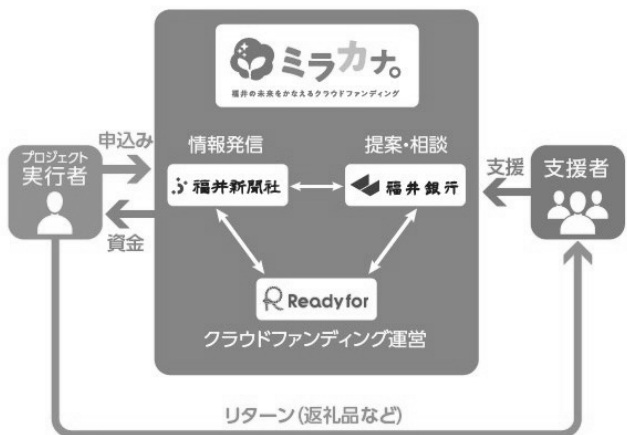
(2019 年度中)

③事業拡大 クラウドファンディング「ミラカナ。」

株式会社福井新聞社および READYFOR 株式会社と連携し、福井県に特化したクラウドファンディングサービス「福井の未来をかなえるクラウドファンディング『ミラカナ。』」を開始しました。『ミラカナ。』は、「全国の“やさしいお金”を福井へ」をテーマに、福井県内におけるクラウドファンディング利用の活性化を図るプラットフォームです。

お客さまの事業資金の調達にクラウドファンディングという新たな手段を加え、お客さまの成長機会の創出に寄与してまいります。

「ミラカナ。」登録件数	28 件 前期比+ 17 先
うち目標金額達成件数	25 件 前期比+ 14 先



④ネットショップ開設支援「BASE (ベース)」

「BASE (ベース)」は、ものづくりを行う個人、ビジネスを展開する法人、地方自治体をはじめとする行政に幅広くご利用いただいているネットショップ作成サービスです。これまで「BASE」で開設されたネットショップ数は 100 万店舗を超えています。国内最大級のショップ開設数を誇る「BASE」と、地域活性化に取り組む「福井銀行」が連携し、ネットショップを活用した販路拡大を支援します。

ネットショップ開設支援件数	27 件
---------------	-------------

(2019 年度中)

●「BASE で始めよう！ ネットショップ！」セミナーを開催

2019 年 12 月に「ネットショップを開設したい」という方や、開設したネットショップの「売上が上がらない原因を探りたい」という方を対象にセミナーを開催しました。少人数での開催としたため、ネットショップの基礎知識や SNS を活用した具体的な情報発信の方法など、お客さまへ直接的に解決策を提供する場となりました。

⑤ 海外ビジネスサポート

県内企業のグローバル化が進むなか、経済成長を続ける中国、東南アジアを中心とする海外市場の取り込みが重要な課題となっています。当行は、海外駐在経験を有する専門担当者が海外拠点と連携し、海外での事業拡大に向けた幅広い支援に取り組んでいます。

海外支援チームによる 支援件数	57件 前期比▲97件 (2019年度中)
--------------------	-----------------------------



サポート1 最新の情報を提供

進出先の最新の動向のほか、現地における各種法規制などの情報を提供します。



サポート2 販売先・調達先の開拓

ビジネスマッチングやセミナー・商談会の開催により、販売先や調達先の開拓をサポートします。



サポート3 貿易（輸出入）のサポート

輸出入実務や会計・税務・財務に関するアドバイスのほか、為替リスクヘッジ商品のご提案を行います。



サポート4 海外ファイナンスのサポート

手軽に為替手続きができる外為 WEB サービスの提供や、提携銀行を通じた外貨建てご融資を行います。



サポート5 海外人材確保・育成

海外に精通した人材の採用や、外国人留学生の採用・育成をサポートします。

＜海外販路拡大・調達先拡大＞

お客さまの海外での販路拡大、調達先の多様化等のニーズにお応えするため、セミナー・相談会開催による海外ビジネスに関する最新情報の提供や、ビジネスマッチングによるビジネスパートナーの紹介に積極的に取り組んでいます。

●「越境 EC を活用した中国における福井県産品販路拡大事業」を受託

2019年9月に当行グループ会社である福井キャピタル&コンサルティングが福井県事業「越境 EC を活用した中国における福井県産品販路拡大事業」を受託しました。

本事業では、Inagora（インアゴラ）株式会社が運営する越境 EC アプリ「豌豆公主（ワンドウ）」内に福井県産品を集約した「福井館」を2019年10月に開設しました。「福井館」では、中国の消費者

向けに福井県産品の魅力を伝えるプロモーションを展開し、お客さまの中国市場への販路開拓を支援します。

（事業期間 2019年9月12日～2020年3月31日）

「福井館」出店状況	8社・120商品 (2020年3月末)
-----------	------------------------

●商談会を開催

海外に関心のあるお客さま、海外取引が初めてのお客さまに海外取引の機会を設けることで、海外バイヤーに福井県の魅力的な商品を知っていただき、福井産品の販路拡大につながる機会を提供しております。



「タイ・シンガポール
バイヤー招へい商談会」
共催：株式会社フォーバル

＜海外人材採用・人材育成＞

海外での事業展開には、各国の事情に精通した優秀なスタッフを確保することが欠かせません。当行は、各団体や大学と連携し、外国人留学生の採用や育成に向けたサポートを行っています。

留学生合同企業説明会参加数	17社・52名
外国人留学生採用支援セミナー参加数	41名
外国人人材定着支援セミナー参加数	31名






(2019年度中)

事業戦略

①リース活用サポート

当行グループ会社である福銀リースと連携し、リースを活用した設備導入・入替を支援しております。お客さまの設備投資に対して、銀行融資とリース商品の一体的な提案を行うことにお客さまの資金調達手段の多様化や、設備管理にかかる事務の合理化につながる支援を実施しております。

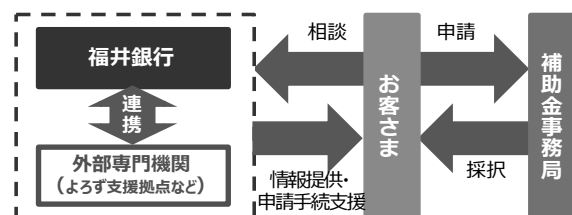
リース活用支援件数	588 件 前期比+ 88 件 (2019 年度中)
-----------	---

	メリット 1 初期負担の軽減	設備投資による初期負担をリースにより平準化することで、導入時の資金負担が軽減されます。
	メリット 2 資金調達の多様化	金融機関からの借入による購入も、リースも、物件を使用するという点では全く変わりありません。リース利用によって、実質上設備投資について借入したのと同じ効果が得られます。しかも金融機関からの借入枠は温存されることになり、資金調達力に余裕ができます。
	メリット 3 コストの把握	リース料の支払は通常、毎月一定額ですので、コスト意識を高めることができます。
	メリット 4 事務の合理化	リースを利用することにより、減価償却計算、固定資産税の申告納付、損害保険の付保管理、資産処分手続きが省略でき、管理事務の合理化が図れます。
	メリット 5 金利変動リスクの回避	リース料は期間中固定ですので、金利変動リスクが回避されます。

②補助金・助成金活用サポート

当行は、「よろず支援拠点」などの外部専門機関と連携し、お客さまの事業の成長に向けて、ニーズにあった補助金・助成金に関する情報提供から申請手続きまでトータルで支援しております。

補助金は申請から採択・補助金の受領までタイムラグがあります。当行は、補助金を受領するまでの期間のつなぎ資金のご融資も対応しています。



③医療・介護分野サポート

医療の高度化や制度改革、少子高齢化など、医療・介護分野を取り巻く環境の変化に対応するため、本部コンサルティングチームに専門担当者を配置し、お客さまの事業継続のための様々な課題解決を通して、地域の医療・介護サービスの充実・発展に取り組んでおります。

コンサルティングチームによる支援件数	62 件 前期比+ 5 件 (2019 年度中)
--------------------	---------------------------------------

●医療介護連携セミナーを開催

当行では、外部の専門講師を招き、医療機関・介護施設の経営者や実務者のみなさまを対象とした「医療経営セミナー」「医療介護連携セミナー」を定期的に開催しております。

医療経営セミナー開催	4 回
医療介護連携セミナー開催	1 回
のべ参加者数	178 名

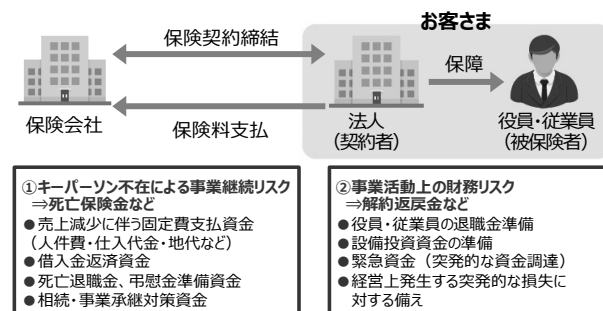
(2019 年度中)

④法人保険

お客さまの事業を継続する上でのさまざまなリスクに備えるため、当行の専門担当者がお客さまのライフステージや経営環境に寄り添った法人保険のトータルプランニングを行っております。

法人保険とは役員や従業員を被保険者とし、法人が契約する生命保険です。法人保険には2つの機能があり、法人の各種リスクに備えることができます。

コンサルティングチームによる支援件数	88 件 前期比▲ 21 件 (2019 年度中)
--------------------	--



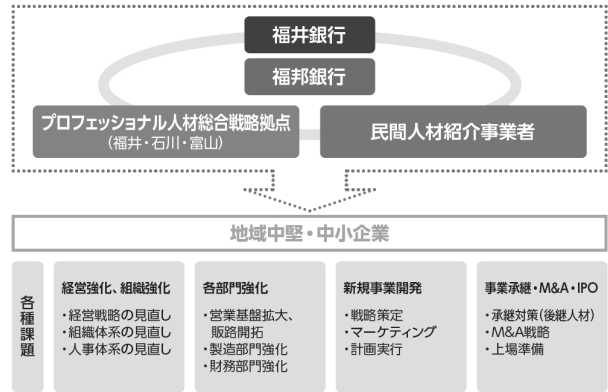
※法令などの定めにより、当行でご融資を受けられているお客さまはお取扱いができません。

※当行は「保険募集指針」に則って適切な保険募集を行います。

⑤ 人材発掘・人材育成支援

近年、福井県を中心とする地域企業の人材不足が進行しており、また人材に関する経営課題も増加しています。

当行は、2019年12月に、株式会社福邦銀行とともに「有料職業紹介事業」（以下、人材紹介業務）へ参入しました。人材紹介業務を通じて、お客さまの経営課題の解決、持続的成長を支援することで、地域経済の活性化に貢献してまいります。



● 先導的人材マッチング事業の採択

2020年3月、当行は株式会社福邦銀行とともに、内閣府が実施する地方創生支援事業（先導的人材マッチング事業）の間接補助事業者に共同採択されました。

● セミナーや研修による人材育成支援

全ての企業が直面する人材育成の課題に対し、グループ会社である福井キャピタル&コンサルティング、民間人材事業者と連携し、社員の方の立場や状況に応じた育成支援メニューを取り揃えています。

事業承継支援

お客さまの永続的な発展・存続や円滑な承継を実現するため、後継者問題等の課題や事業拡大ニーズを有する取引先企業に対して、様々なノウハウを集約した本部の専担部署が中心となり、事業承継支援（自社株評価や株式承継対策を含めた実行支援）の強化をすすめてまいります。

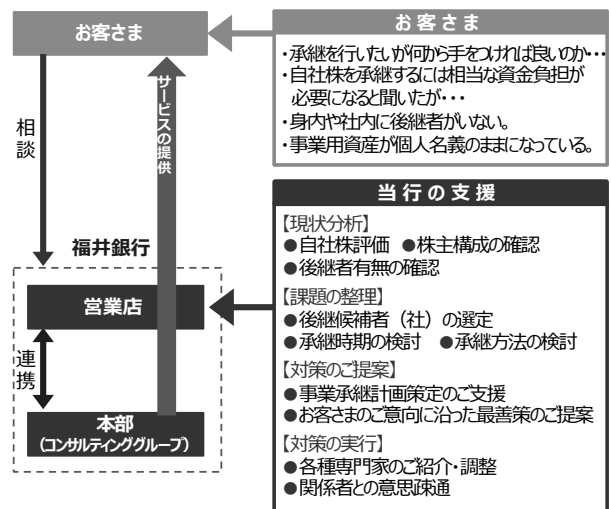
① 事業承継コンサルティング

会社の「事業（経営）」と「自社株式」を円滑に“後継者”へ引き継ぐ事業承継は、会社が永続的に発展するための重要な課題です。当行はお客さまの円滑な事業承継を全力でサポートします。

事業承継支援先数	198先 前期比+ 5先 (2019年度中)
----------	------------------------------

M&A シニアエキスパート取得者	10名
事業承継シニアエキスパート取得者	3名
事業承継・M&A エキスパート取得者	300名

(2020年3月末現在)



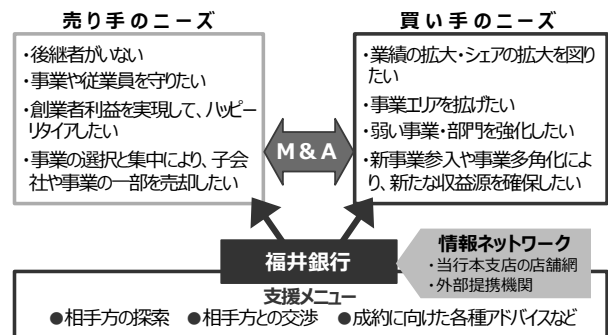
② M&A コンサルティング

M&A で解決できる経営課題は多岐にわたります。当行がもつノウハウやネットワークを活かしながら、事業の発展につながる M&A の活用を提案しサポートします。

M&A 支援先数	93先 前期比▲ 16先 (2019年度中)
----------	------------------------------

● ヘルスケア業界 M&A セミナーを開催

2019年6月に「ヘルスケア業界 M&A セミナー」を開催し、医療・介護を中心としたヘルスケア業界のトレンドと M&A 検討時のポイントについて、情報提供を行いました。



経営改善支援

成長鈍化期や再生期のお客さまの事業継続を実現するため、事業性理解による経営課題の明確化や解決策の提供に取り組んでおります。

経営改善コンサルティング

経営改善に向けた計画策定から達成のためのフォローまで当行の専門担当者がトータルサポートします。

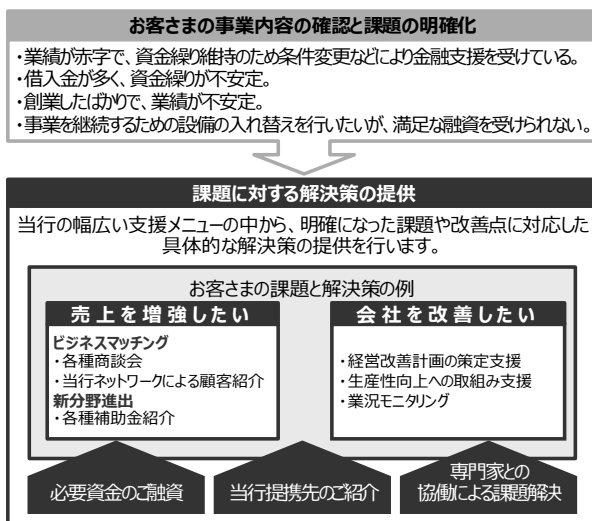
コンサルティングチームによる支援件数	58件
(2019年度中)	

貸出条件の変更を行った先数

中小企業の貸付条件変更先数	479先
前期比+ 34先	
(2019年度中)	

また、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構（REVIC）などの外部支援機関を活用し、お客さまに最適な経営改善策の提供や事業再生に取り組んでおります。

REVIC・中小企業再生支援協議会の活用先数	9先
前期比+ 1先	
(2019年度中)	



個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮 ～お客さま理解の取組み～

企業理念「地域に暮らす人々の豊かな生活」の実現に向け、当行は「お客さま本位の基本方針」を掲げ、お客さまのライフステージをふまえたニーズ・課題を理解し、最適な商品・サービスの提供に努めてまいります。

	資産形成					セカンドライフ	
	就職	結婚	出産	マイホーム	お子さまの進学	退職	相続
かりる	<ul style="list-style-type: none"> ●マイカーローン ●カードローン ●フリーローン 					<ul style="list-style-type: none"> ●住宅ローン ●教育ローン ●リフォームローン 	
そなえる	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・がん保険 ●個人年金保険（平準払） ●iDeCo（個人型確定拠出年金） 						
ふやす のこす	<ul style="list-style-type: none"> ●投資信託 ●つみたて倶楽部（投資信託自動積立サービス） ●つみたてワンダ4（外貨普通預金自動積立サービス） 					<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニアNISA ●個人年金保険（一時払） ●終身保険（一時払） ●遺言信託・遺産整理業務 	

①キャンペーンの実施と商品ラインアップの充実

お客さまのライフステージにおけるさまざまなニーズに対応した、キャンペーンの実施や商品ラインアップの充実により、お客さまの課題解決支援に取り組んでおります。

2019年度中に実施したキャンペーン			
2月～5月	iicaJCB・JURACA・Visa デビット入会・利用キャンペーン	10月～4月	教育ローンキャンペーン
2月～5月	春の新生活応援・学生応援キャンペーン	12月～2月	ほけんプラザ「保障の確認・ご相談」キャンペーン
1月～9月	マイカーローン「カットビくん」「カットビくんR」キャンペーン	12月～1月	冬の資産づくり応援キャンペーン
6月～8月	ほけんプラザ「保障の確認・ご相談」キャンペーン	2月～5月	マイカーローン「カットビくん」金利引き下げキャンペーン
6月～8月	夏の資産づくり応援キャンペーン		

②相談拠点の充実

「ふくぎんプラザ」、「まけんプラザ」では、住宅資金相談、教育資金相談、保障の確認など、お客さまのライフステージに応じて生じる様々な不安や悩みを、より高度な専門知識・経験を有する行員が解決し、お客さまのさらなる成長、資産形成をお手伝いするトータルコンサルティングを行っています。

●お借入のご相談、保障のご提案態勢の強化

各営業店窓口では、これまでお客さまのライフステージに応じた様々なお悩みの解決策を提供しております。今般、お客さまのライフステージが大きく変化する住宅資金のご相談受付時には、住宅資金だけでなく火災保険やキャッシュレス、お客さまのライフプランに応じた保障の見直しなど、専門のまけんプラザと連携してご提案・ご相談いただける態勢へと強化を行いました。

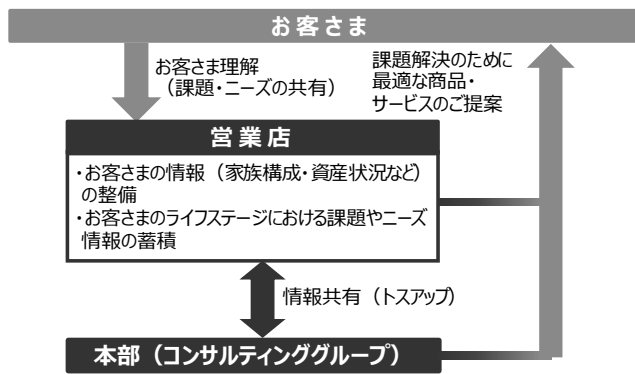
③セカンドライフ層へのサポート体制の充実

お客さまに豊かなセカンドライフを過ごしていただくために、営業店・本部（コンサルティングチーム）が一体となって、お客さまの様々な悩みやニーズに最適な解決策のご提案を行っています。

●相続ニーズへの対応

高齢化社会が進行し、相続・贈与に関するニーズが高まっております。当行は相続・贈与における様々な悩みに寄り添いお応えするため、本部コンサルティンググループに専門担当者を配置し、お客さまに最適な相続関連サービスをご提供（お取次ぎ）いたします。

当行の相続関連サービス	
・遺言信託	・遺産整理業務
・民事信託コンサルティング業務	



④キャッシュレス社会への対応

当行は、福井県におけるキャッシュレス社会の構築に向け、様々な取組みを進めております。

●JURACA

2種類の電子マネーと、福井ならではのサービスを提供する多機能型カードです。地元企業との連携を強化し、JURACAの提示により様々な割引や優待サービスを受けられるお店が拡大しております。



JURACA 会員数	33,044 人
------------	----------

(2020年3月末現在)

●ふくぎん Visa デビットカード

お買い物をしたらすぐに預金口座から引き落としされ、現金のようにご利用いただけるカードです。口座残高の範囲内でのご利用のため、使いすぎることもなく、安心してご利用いただけます。



ふくぎん Visa デビットカード会員数	14,196 人
----------------------	----------

(2020年3月末現在)

●BankPay



銀行口座をお持ちの方が使える安心・安全なスマートフォン決済サービスです。専用のBank Payアプリをダウンロードして頂ければ契約加盟店でスマートフォンだけでカンタンにお支払いができます。その上アプリのダウンロードからご利用まで、すべて無料でご利用頂けます。このサービスは全国の金融機関が参加表明しており拡大中です。

地域の面的再生への積極的な参画 ～まち・ひと・しごと創生に向けた取組み～

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでおります。

① 地方公共団体との協定締結

当行と各地方公共団体が相互に連携し、相互の人的・知的資源の活用を図り、協働による事業活動を展開することで、「まち・ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立を目指すことを目的に、地方公共団体と連携協定を締結しています。

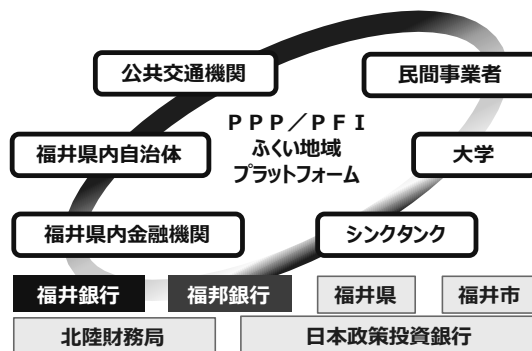
今後も地方公共団体との連携を強化し、積極的な関与・協力を通じて地域経済の活性化に貢献してまいります。

協定締結先一覧

時期	地方公共団体
2015年度	越前市、福井市、勝山市、大野市、小浜市、敦賀市、美浜町
2016年度	永平寺町、坂井市、福井県、高浜町
2017年度	鯖江市、あわら市、越前町、南越前町

② PPP/PFI ふくい地域プラットフォーム

2016年12月、官民連携による地域活性化について考えるふくい地域プラットフォームを設立。2020年4月、Fプロジェクトの一環として事務局に福井銀行を追加。財務省北陸財務局、日本政策投資銀行、福井県、福井市とともに開催しております。地域において「効率的かつ効果的な公的施設等の整備や、高速交通開通に伴う各事業のより円滑な実施などに向け戦略的にPPP/PFIの活用推進を通じた民間における新たな事業機会創出や民間投資喚起等による地域活性化実現」などを進める活動をしております。



③ 民間主導型小水力発電事業への関与

2020年2月、県内民間事業者による小水力発電施設において発電および売電が開始されました。当行は地域事業者との連携を図りながら、事業スキーム構築などのコンサルティング業務と融資で支援しました。

再生可能エネルギー事業は地域資源を有効活用した地域活性化の手段として注目されております。当行は持続可能な社会の実現（SDGs）に向け、環境に配慮した取組みを支援してまいります。

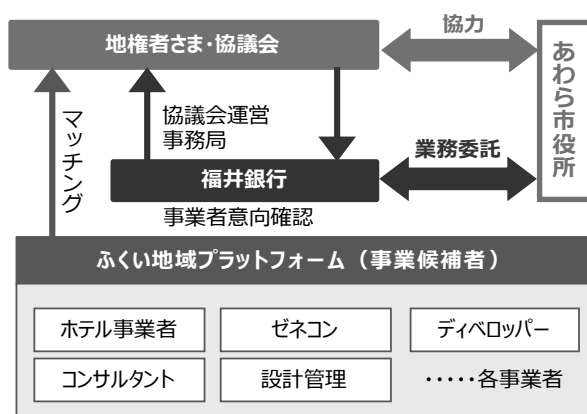
● 坂井市 椋ノ木谷川水力発電所開所式



④ あわら市からの業務受託「駅西口エリア活用促進協議会」

2018年9月、2023年の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けた駅周辺整備事業で、当行があわら市より運営事務局を受託し、地権者の意向調査、地権者の合意形成、事業候補者の選定などを行います。

福井県の「北の玄関口」にふさわしい交通結節点と魅力発信拠点として、駅利用者の利便性の向上を図るとともに、市民と来訪者が集い、ともに憩えるエリアとして整備することで、駅周辺のさらなる賑わい創出を目指していくものです。



⑤ 福井駅西口再開発の事務局支援

2016年6月にユアーズホテルフクイ周辺の地権者を中心とした協議会が発足。当行は事務局運営をサポートしてまいりました。再開発事業は準備組合を経て2020年1月に本組合が設立。また、ホテル運営者としてコートヤード・バイ・マリオットの進出が決定。今後も2023年の北陸新幹線福井延伸に向けたまちづくりを支援してまいります。

⑥ 伝統産業の成長発展支援

和紙産地振興支援として2017年4月より福井県和紙工業協同組合との産地振興ミーティングを開催し、大手コンサルタントの三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる公開セミナーの開催や組合員によるワークショップを実施しました。

2018年度に入り、越前和紙のブランド力向上を目指し、福井県中小企業団体中央会との連携による中小企業販路開拓調査・実現化事業（中小企業組合等活路開拓事業）補助金申請を通じて、越前和紙産地振興プロジェクト構築事業委員会に参画し、2019年2月に5年間の越前和紙産地振興計画の策定に至っています。

⑦ ふくい環境配慮型社会研究会の設立

2019年8月、公立大学法人福井県立大学地域連携本部、一般社団法人ふくいエネルギーマネジメント協会、福井県中小企業団体中央会とともに、福井ならではの地域特性を踏まえた環境配慮型社会の実現に向け、産学連携の研究会を立ち上げました（事務局は福井県立大学地域連携本部）。

研究会では国連が目指している「持続可能な開発目標（SDGs）」への取り組み、省エネや再生可能エネルギーの活用がどのような経済効果があるのかを中小企業の業態に合わせて分析、具体的活動に結び付きやすいように、実践方法や補助金支援策と結び付け企業に提案していきます。

地域やお客さまに対する積極的な情報発信

地域やお客さまのお役に立つ情報やノウハウを、各種セミナーやホームページ・SNSを通じて発信してまいります。

① 「ふくぎんフレッシュセミナー2019」を開催

2019年4月に新社会人となられた方を対象として、「ふくぎんフレッシュセミナー」を開催しました。2019年度は138社、計679名の新社会人のみなさまに参加いただきました。



② 当行ホームページをリニューアル

2019年9月に当行ホームページ「法人のお客さま」「福井銀行について」「株主・投資家のみなさま」をリニューアルしました。今後もホームページを通じて、当行の取り組みや商品・サービス等の情報をより分かりやすく発信してまいります。



金融仲介機能の発揮に向けた取組み

～金融仲介機能のベンチマーク（2019年度）～

当行は、2016年9月に金融庁が策定しました「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の発揮に向けた取組み状況について定期的にモニタリングを行い、取組みの改善やさらなる強化につなげております。

当行がモニタリング項目として採用しているベンチマークの2020年3月期モニタリング結果

■共通ベンチマーク

ベンチマーク	ベンチマーク（指標）の説明	指標				
取引先企業の経営改善や成長力の強化						
1	金融機関がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数、及び、同先に対する融資額の推移（先数グループベース。以下、断りがなければ同じ）	(単位：先、億円)	2019/3	2020/3	前期比	
		メイン先数	4,006	4,132	+126	
		メイン先の融資残高	3,384	3,504	+120	
		経営指標等が改善した先数	3,104	3,246	+142	
		(単位：億円)	2018/3	2019/3	2020/3	
	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	2,669	2,859	2,891		
取引先企業の抜本的な事業再生等による生産性の向上						
2	金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業先数	(単位：先)	2019/3	2020/3	前期比	
		貸付条件の変更を行っている中小企業先数	445	479	+34	
3	金融機関が関与した創業、第二創業の件数	(単位：件)	2019/3	2020/3	前期比	
		金融機関が関与した創業件数	760	690	▲70	
		金融機関が関与した第二創業件数	22	8	▲14	
4	ライフステージ別の与信先数、及び、融資額（先数単体ベース）	(単位：先、億円)	2019/3	2020/3	前期比	
		ライフステージ別の与信先数	全与信先	10,717	11,004	+287
			創業期	571	579	+8
			成長期	791	946	+155
			安定期	8,206	8,473	+267
			成長鈍化期	516	439	▲77
		再生期	633	567	▲66	
		ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	全与信先	8,828	9,005	+177
			創業期	326	313	▲13
			成長期	643	789	+146
			安定期	7,109	7,262	+153
			成長鈍化期	208	265	+57
		再生期	540	373	▲167	
		担保・保証依存の融資姿勢からの転換				
5	金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額（先数単体ベース）	(単位：先、億円)	2019/3	2020/3	前期比	
		事業性評価に基づく融資を行っている与信先数	9,901	10,325	+424	
		事業性評価に基づく融資を行っている融資残高	7,376	7,643	+267	

■用語等の補足説明

与信先	融資枠や保証のみなど、融資残高がない先を含む
メイン取引先	取引先の決算期末時点の借入残高のうち、当行からの融資残高が1位の先（※政府系金融機関を除く）
第二創業	・既に事業を営んでいる企業の後継者等が新規事業を開始すること・既存の事業を譲渡（承継）した経営者等が新規事業を開始すること ・抜本的な事業再生によって企業が業種を変えて再建すること
ライフステージ	全与信先で過去5期の売上高を把握し区分 ・創業期…創業・第二創業から5年まで ・成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超 ・安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80% ・成長鈍化期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満 ・再生期…貸付条件の変更または延滞がある期間

■ 選択ベンチマーク

ベンチマーク		ベンチマーク (指標) の説明		指標		
地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション						
1	全取引先数と地域の取引先数の推移 (先数単体ベース)	(単位: 先)		2018/3	2019/3	2020/3
		全取引先数の推移		10,880	11,198	11,579
				福井県内取引先数の推移		
				8,659	8,899	9,148
2	メイン取引(融資残高1位)先数の推移、及び、 全取引先数に占める割合 (先数単体ベース)	(単位: 先、%)		2018/3	2019/3	2020/3
		メイン取引先数の推移		4,603	4,758	4,976
		全取引先数に占める割合		42.3	42.5	43.0
事業性評価に基づく融資(担保・保証に過度に依存しない融資)						
3	地元の中小企業と信先のうち、無担保と信先数 (先数単体ベース)	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		地元の中小企業における無担保と信先数		5,821	6,002	+181
4	地元の中小企業と信先のうち、無保証のメイン取引先数 (先数単体ベース)	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		地元の中小企業における無保証のメイン取引先数		567	668	+101
5	経営者保証に関するガイドラインの活用先数 (先数単体ベース)	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		経営者保証に関するガイドラインの活用先数		1,188	1,242	+54
本業(企業価値の向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供						
6	本業(企業価値の向上)支援先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		本業支援先数		1,647	1,894	+247
7	本業支援先のうち、経営改善が見られた先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		本業支援先のうち、経営改善が見られた先数		1,072	1,271	+199
8	ソリューション提案先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		ソリューション提案先数		2,228	2,441	+213
9	経営改善提案を行っている先数、及び、 メイン取引先へ経営改善提案を行っている先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		経営改善提案を行っている先数		2,266	2,468	+202
		メイン取引先へ経営改善提案を行っている先数		965	1,044	+79
10	創業支援先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		創業支援先数		303	275	▲28
11	販路開拓支援を行った先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		販路開拓支援先数		491	502	+11
12	M&A支援先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		M&A支援先数		109	93	▲16
13	事業承継支援先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		事業承継支援先数		193	198	+5
14	転廃業支援先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		転廃業支援先数		13	10	▲3
15	事業再生支援先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		事業再生支援先数		114	117	+3
人材育成						
16	取引先の本業支援に関連する資格取得者数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		本業支援に関連する資格取得者数		384	391	+7
他の金融機関及び中小企業支援策との連携						
17	地域経済活性化支援機構(REVIC)、 中小企業再生支援協議会の活用先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		地域経済活性化支援機構(REVIC)活用先数		0	1	+1
		中小企業再生支援協議会活用先数		8	8	0
18	取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	(単位: 先)		2019/3	2020/3	前期比
		取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数		120	103	▲17

■ 独自ベンチマーク

ベンチマーク		ベンチマーク (指標) の説明		指標		
1	繊維産業の融資先数、及び、融資残高	(単位: 先、億円)		2019/3	2020/3	前期比
		融資先数		444	423	▲21
		うち福井県内の融資先数		374	357	▲17
		うち卸売を除く		282	267	▲15
		融資残高		536	471	▲65
		うち福井県内の融資残高		371	336	▲35
		うち卸売を除く		302	274	▲28
2	眼鏡産業の融資先数、及び、融資残高	(単位: 先、億円)		2019/3	2020/3	前期比
		融資先数		152	152	0
		うち福井県内の融資先数		152	152	0
		うち卸売を除く		93	95	+2
		融資残高		129	114	▲15
		うち福井県内の融資残高		129	114	▲15
		うち卸売を除く		50	46	▲4

「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況

福井銀行は2017年6月に「お客さま本位の基本方針」を策定・公表し、その取組みを確実に実践するため、定期的
に取組状況を検証し、取組内容の見直しや商品・サービスの向上につなげております。

今般、2019年度の実績ならびに成果指標について取りまとめましたのでご報告いたします。

※本資料で公表する数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

お客さま本位の基本方針

福井銀行は、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念として掲げており、この理念の
実現のために、お客さまを大切に思い、誠実に行動することを表明しております。

この企業理念のもと、私たちがお客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野に
おいて「お客さま本位の基本方針」（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営
を実践してまいります。

1. お客さま本位の業務運営の堅持

基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証して
まいります。

2. お客さまの最善の利益の追求

金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、私たちの企業理念に基づきお客さまに対して誠実・
公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3. お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当
に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4. お客さまからいただく手数料等の明確化

金融商品の取り扱いにおいてお客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その手数料等の
詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧に説明することに
努めます。

5. お客さまのための重要な情報の分かりやすいご提供

お客さま本位の業務運営を実践するにあたっては、金融商品やサービスにおける基本的な利益や損失その他のリスク、
ご負担いただく手数料等の取引条件、ご提案する金融商品やサービスの選定理由、経済環境・市場動向等、お客
さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かり
やすく丁寧に説明しご提供することに努めます。

6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、
ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが真にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、アフターフォロー
などのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ライン
アップの整備に努めてまいります。

7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に
対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員
の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

取組方針 1 「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況の報告および公表

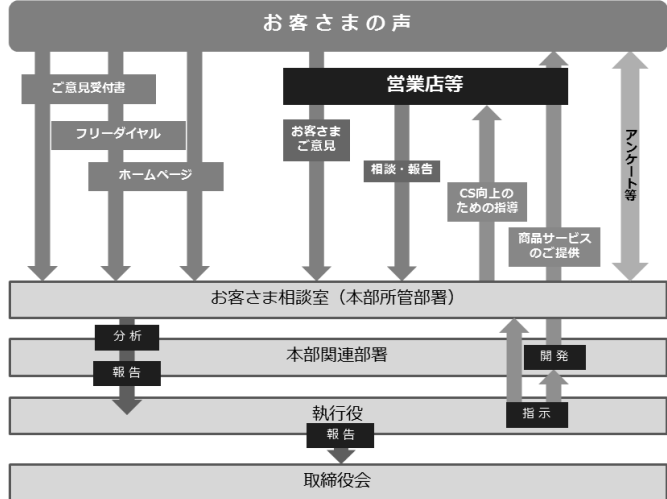
「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況については、自己検証を行い、経営に報告する体制をとってまいります。また、その取組状況がお客さまから評価していただけるものとなるように、各年度毎に当行ホームページにて公表してまいります。

取組方針 2 お客さま本位の業務運営のための行内態勢整備

お客さまから寄せられたご意見に対して公正・迅速・誠実に対応し、お客さま本位の業務運営の改善と企業文化の醸成に活かしてまいります。

- ✓ 当行は、営業店における金融商品の販売状況やその適切性、お客さまへのアフターフォローの取組状況について、定期的に本部がモニタリングを実施しております。モニタリングにおいて顕在化した課題については、対応策を検討し、取組内容の改善に努めております。
- ✓ お客さまからいただいたご意見・要望や苦情等につきましては、その発生の原因を追究するとともに、適切かつ迅速に改善に取り組む体制を整備しております。

【お客さまの声を活かす体制】

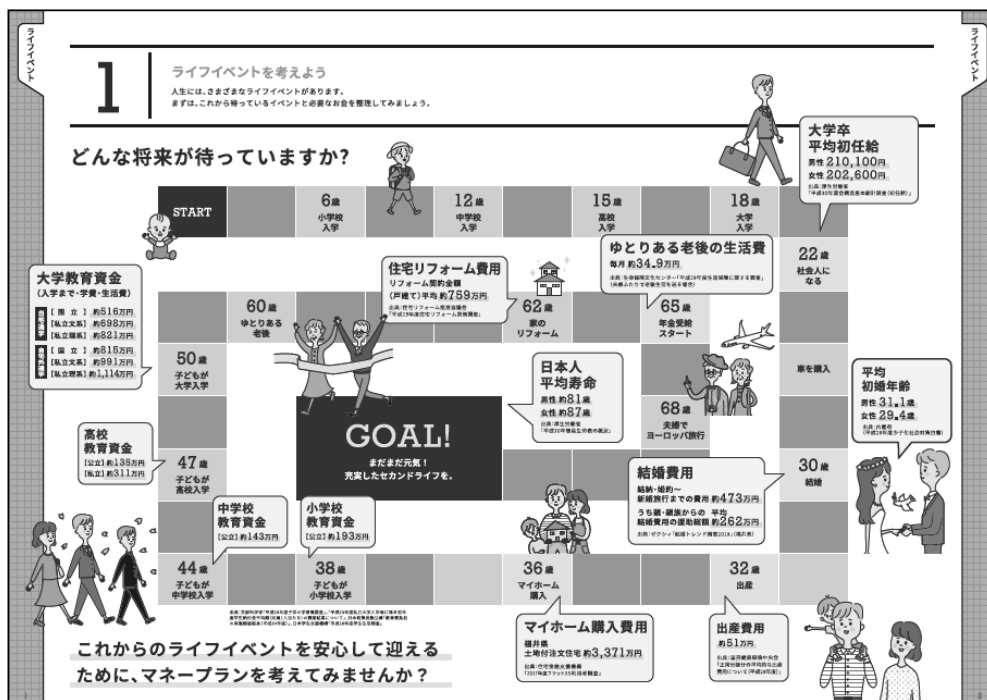


取組方針 3 お客さまのための重要な情報の分かりやすいご提供

お客さまのための重要な情報を分かりやすくご提供・ご説明できるよう、また、お客さまに適切な判断をしていただけるよう、販売・募集・アフターフォロー時等に使用するご説明用の各種資料やパンフレット等、各種ツールの整備と充実に取り組んでまいります。

- ✓ お客さまのライフステージにおける課題やニーズを把握し、その解決策について各種資料やパンフレットを用いてわかりやすく説明することに取り組んでおります。

※福井銀行の資産計画読本より



取組方針 4 お客さまの金融知識向上への取組み

お客さまの金融知識向上に貢献するために、各種セミナーを企画、実施してまいります。また、各種セミナーがより効果を発揮するように、その内容や実施方法等について工夫してまいります。

- ✓ 本部が主催するセミナーに加えて、各営業店が主催するセミナー（特に職域セミナー）の開催を増やしていくことで、お客さまが参加いただける機会を増やし、よりご理解を深めていただけるように努めております。

【2019年度各種セミナー開催状況】

●本部主催セミナー	2回
●営業店主催セミナー	339回
（うち職域セミナー）	329回

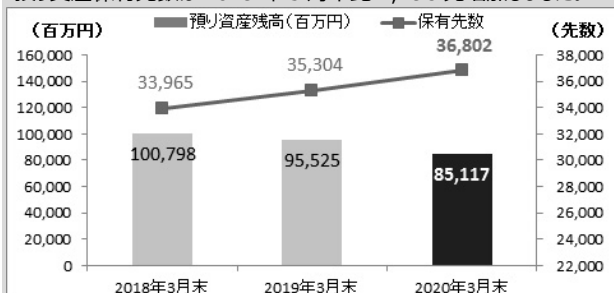
取組方針 5 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの充実

お客さまの資産形成や資産運用に幅広くお手伝いするための商品ラインアップの充実を図り、多様なご提案に努めてまいります。

- ✓ 2019年度は、投資信託の商品を新たに4商品追加し、バランス型13商品、債券型7商品、株式型30商品、リート4商品の計54商品を揃えており、多様なニーズに応えることができるラインアップとしております。

成果指標 預り資産残高と保有先数の推移

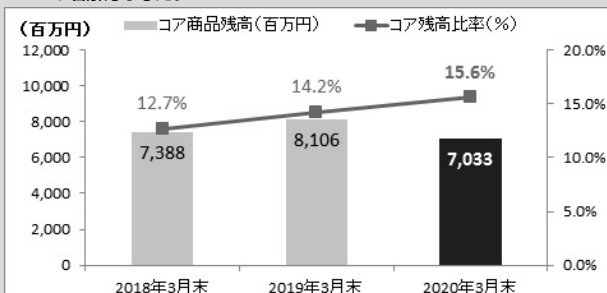
全員営業の意識を高めお客さまの資産形成支援活動に注力し、お客さまのニーズに応じた資産形成や資産運用のお手伝いに努めた結果、預り資産保有先数は2019年3月末比1,498先増加しました。



※預り資産…投資信託、公共債、仕組債、外貨預金

成果指標 コア商品残高比率の推移

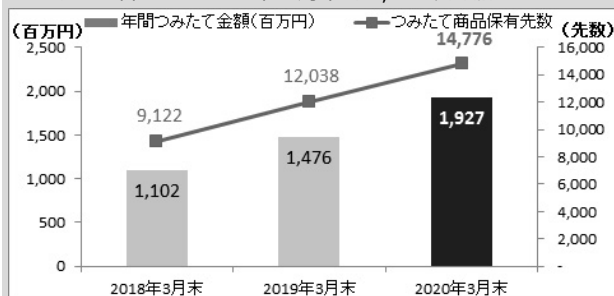
お客さまの資産形成のコアとなる商品のご提案に努めた結果、残高および投資信託全体に占めるコア商品残高比率は2019年3月末比1.4%増加しました。



※コア商品…「低リスク」、「低コスト」、「分散投資」の観点から、長期保有により資産形成に適した投資信託を当行が選定しています。

成果指標 つみたて商品保有先数と年間つみたて金額の推移

住宅・教育・老後資金等、お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えすべく、各種つみたて商品のご提案に努めた結果、つみたて商品を保有されているお客さまは2019年3月末比2,738先増加しました。



※つみたて商品…定額購入する「投資信託」、「外貨預金」

取組方針 6 お客さま本位のアフターフォローの実施

タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを積極的に実施し、きめ細やかな対話を通じて、お客さまの資産形成や資産運用のご意向に対する理解をより深めていくことに努めてまいります。

- ✓ 毎年度、ご高齢のお客さま、評価損の大きいお客さま、変額保険を保有されているお客さまを中心にアフターフォローの対象先を選定し、その実施率を計測しています。今後も投資信託をはじめとした預り資産を保有していただいているお客さまへのアフターフォローに積極的に取り組んでまいります。

【2019年度アフターフォロー活動状況】

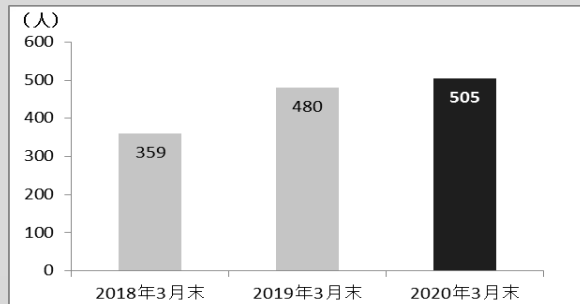
活動期間	2019年4月～2020年3月（1年を通して活動）
対象先	① リスク商品を保有する75歳以上のお客さま ② 投資信託損失が30%以上の個人のお客さま ③ 変額個人年金保険、変額終身保険、外貨建保険のいずれかを保有されている個人のお客さま
アフターフォロー実施率	99.6%（実施先 9,960 先／対象先 10,005 先）

取組方針 7 専門性の高い人材の育成

個人目標を計数目標から役割（行動）目標へ転換し、お客さまの資産形成や資産運用のお手伝いのための行動、職員自身の資質向上のための行動などを評価の対象としております。「お客さま本位の基本方針」を実践できる人材の確保と、各種スキルの向上を目的として、各種研修やOJT（実務を通じた教育）等による人材育成に取り組んでまいります。

成果指標 FP 資格（1級・2級）保有人数

お客さまのライフステージやライフプランをふまえた、幅広い視点での各種ご提案・情報提供ができる人材の拡大に努めており、公的資格であるファイナンシャルプランナー資格保有者は年々増加しています。



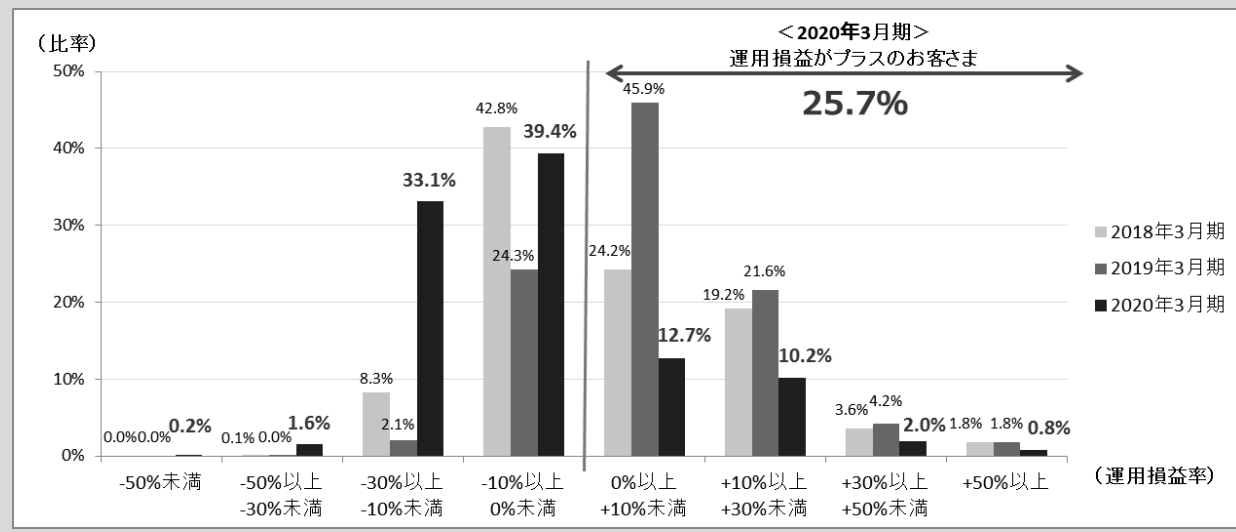
「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の報告

1. 運用損益別お客さま比率

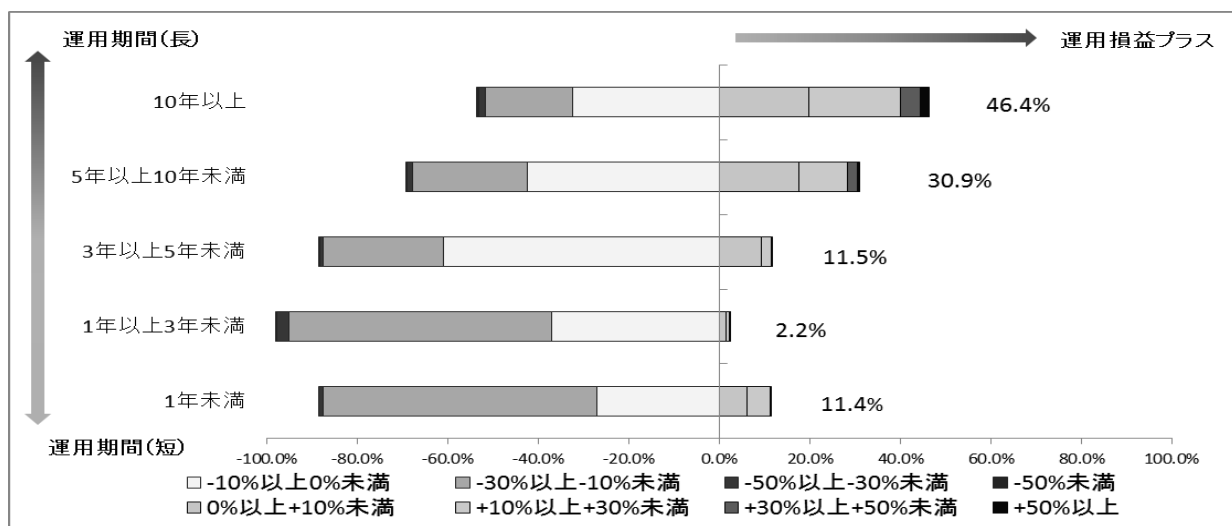
投資信託を保有しているお客さまにつきまして、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に比率を示したものです。

共通 KPI 運用損益別お客さま比率

- ✓ 2020年3月末時点の運用損益がプラスのお客さまは25.7%となりました。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、基準日における投資信託の基準価額が低下したことにより、運用損益がプラスとなったお客さまが減少しました。



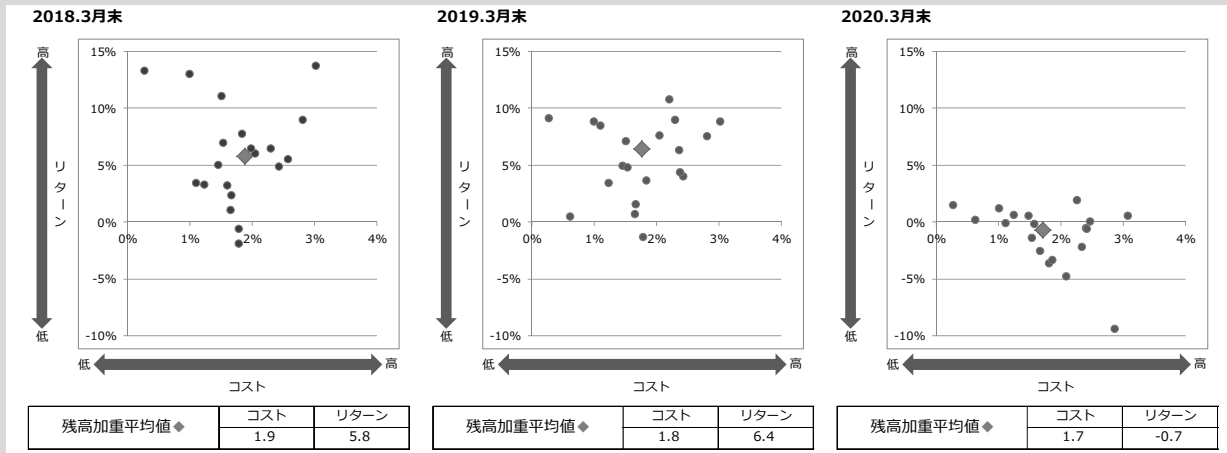
＜参考指標＞ 運用損益別お客さま比率（運用期間別） ※運用期間：当行で投資信託口座を開設してから基準日までの期間
 2020年3月末時点の運用損益別お客さま比率を、お客さまの運用期間別にしたグラフです。運用期間の比較的最長のお客さまが運用損益プラスとなる傾向があります。



2. 投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

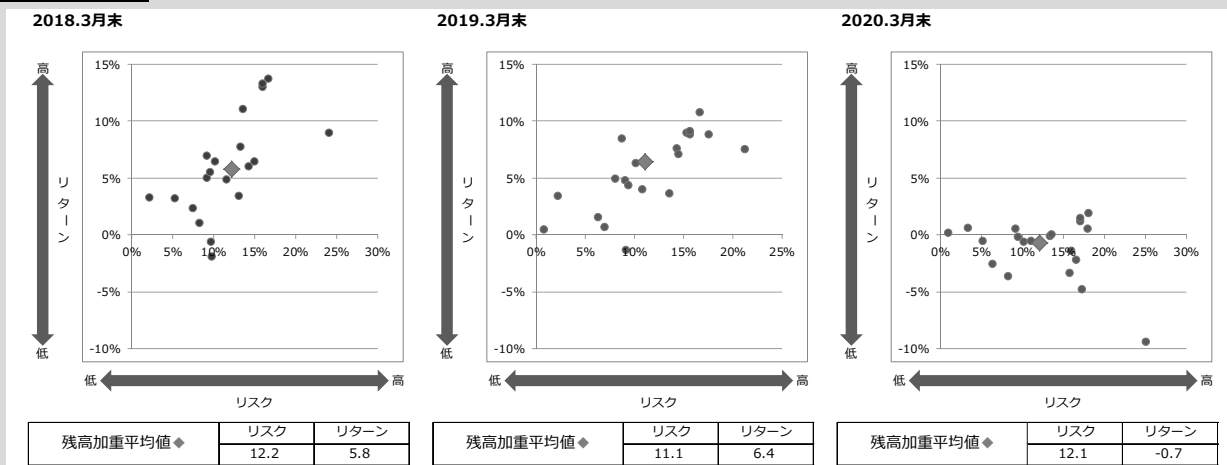
設定後 5 年以上の投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、銘柄ごとのコストとリターンの関係およびリスクとリターンの関係を示した指標です。2020 年 3 月末時点の預り残高上位 20 銘柄の平均コストは 1.7%（前期比-0.1%）、平均リスクは 12.1%（前期比+1.0%）、平均リターンは-0.7%（前期比-7.1%）となりました。

共通 KPI 預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



※コスト：販売手数料率の 1 / 5 + 信託報酬率 リターン：過去 5 年間のトータルリターン（年率換算）

共通 KPI 預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



※リスク：過去 5 年間の月次リターンの標準偏差（年率換算） リターン：過去 5 年間のトータルリターン（年率換算）

＜参考指標＞ 預り残高上位 20 銘柄のコスト・リスク・リターン（2020.3 月末）

	銘柄名	コスト	リスク (5年)	リターン (5年)
1	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	1.12	13.42	-0.16
2	新光US-REITオープン (ゼウス)	2.34	16.59	-2.24
3	東京海上・円資産バランスファンド (毎月決算型) (円奏会)	1.25	3.44	0.62
4	インデックスファンド225	1.01	17.09	1.13
5	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.71	5.19	-0.56
6	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.47	13.62	0.00
7	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド (健次)	3.08	18.04	0.53
8	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型 (財産3分法)	1.49	9.21	0.54
9	高金利先進国債券オープン (毎月分配型) (月桂樹)	1.67	6.42	-2.55
10	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	2.09	17.29	-4.84
11	のむらっぴ・ファンド (普通型)	1.57	9.46	-0.22
12	日本好配当利回り株オープン (3ヵ月決算型)	1.54	16.01	-1.39
13	HSBCインドオープン	2.86	25.07	-9.42
14	ニッセイ日経225インデックスファンド	0.28	17.07	1.43
15	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.40	11.15	-0.57
16	次世代米国代表株ファンド (メジャー・リーダー)	2.26	18.11	1.86
17	ジャパン・ソブリン・オープン	0.63	0.97	0.15
18	ダイワ高格付カナダドル債オープン (毎月分配型)	1.82	8.34	-3.66
19	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド (為替ノーヘッジ型)	2.42	10.16	-0.62
20	DIAM世界好配当株オープン (毎月決算コース) (世界配当倶楽部)	1.87	15.76	-3.37

店舗等のご案内 (2020年7月末日現在)

福井銀行の本支店窓口は、平日午前9時から午後3時の営業となっております。(12月31日～翌年1月3日を除く)

● エリア統括店

福井県		住所・電話番号
店番	本店エリア	住所・電話番号
● 100	本店営業部	〒910-8660 福井市順化1丁目1番1号 仮移転先住所：〒910-0023 福井市順化1丁目3番3号 TEL (0776) 24-2030
128	福井市役所支店	〒910-0005 福井市大手3丁目10番1号 TEL (0776) 24-7600
136	県庁支店	〒910-0005 福井市大手3丁目17番1号 TEL (0776) 21-8552

福井東エリア		住所・電話番号
● 101	福井中央支店	〒918-8239 福井市成和1丁目1010番地 TEL (0776) 25-7000
323	美山支店 (福井中央支店店舗内)	
109	さくら通り支店	〒910-0851 福井市米松1丁目1番1号 TEL (0776) 23-8545
112	勝見支店	〒910-0854 福井市御幸2丁目10番14号 TEL (0776) 23-3322
121	東郷支店	〒910-2165 福井市東郷二ヶ町27番13番地の2 TEL (0776) 41-0200
139	板垣支店	〒918-8104 福井市板垣4丁目808番地 TEL (0776) 34-3441

福井西エリア		住所・電話番号
● 104	花月支店	〒910-0021 福井市乾徳4丁目4番1号 TEL (0776) 23-8547
141	花月支店学園出張所 (花月支店店舗内)	
146	飯塚支店 (花月支店店舗内)	
134	花月支店新田塚出張所	〒910-0063 福井市灯明寺2丁目701番地 TEL (0776) 21-0561
118	川西支店	〒910-3143 福井市砂子坂町第15番36番地の1 TEL (0776) 83-1144
131	文京支店	〒910-0017 福井市文京3丁目23番8号 TEL (0776) 24-1331

福井南エリア		住所・電話番号
● 114	木田支店	〒918-8004 福井市西木田2丁目4番6号 TEL (0776) 36-1240
116	橋南支店 (木田支店店舗内)	
115	花堂支店	〒918-8012 福井市花堂北2丁目10番8号 TEL (0776) 36-3249
123	今市支店	〒918-8152 福井市今市町66字鑑田9番の1 TEL (0776) 38-2120
133	清水町支店	〒910-3621 福井市小羽町第6番1番地の1 TEL (0776) 98-5533
144	種池支店	〒918-8031 福井市種池2丁目603番地 TEL (0776) 34-2131

福井北エリア		住所・電話番号
● 106	松本支店	〒910-0004 福井市宝永3丁目34番15号 TEL (0776) 22-5230
105	田原町支店	〒910-0018 福井市田原2丁目13番13号 TEL (0776) 24-5325
117	森田支店	〒910-0157 福井市八重巻東町12番2 TEL (0776) 56-0033
125	大和田支店	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 TEL (0776) 54-6702
127	中央市場支店 (大和田支店店舗内)	
138	新保支店	〒910-0833 福井市新保2丁目513番地 TEL (0776) 53-3352
147	経田支店	〒910-0015 福井市二の宮2丁目29番18号 TEL (0776) 21-9677

鯖江エリア		住所・電話番号
● 200	鯖江支店	〒916-0025 鯖江市旭町3丁目6番4号 TEL (0778) 51-2280
203	河和田支店	〒916-1221 鯖江市西袋町39番1番地の3 TEL (0778) 65-1555
204	住吉支店	〒916-0056 鯖江市住吉町1丁目11番15号 TEL (0778) 52-7311
207	東鯖江支店	〒916-0041 鯖江市東鯖江2丁目7番23号 TEL (0778) 51-8581

鯖江エリア		住所・電話番号
202	神明支店	〒916-0021 鯖江市三六町2丁目403番1号 TEL (0778) 51-2270

丹生エリア		住所・電話番号
● 211	朝日町支店	〒916-0141 丹生郡越前町西田中18号2番地2 TEL (0778) 34-0456
212	織田支店	〒916-0215 丹生郡越前町織田42号3番地4 TEL (0778) 36-0280
213	越前町支店	〒916-0313 丹生郡越前町新保第12号57番地15 TEL (0778) 37-1540

武生エリア		住所・電話番号
● 220	武生支店	〒915-0074 越前市蓬萊町1番1号 TEL (0778) 23-3111
223	武生西支店	〒915-0841 越前市文京2丁目3番26号 TEL (0778) 22-2780
228	武生南支店 (武生西支店店舗内)	
225	味真野支店	〒915-0012 越前市清水頭町1号46番地の1 TEL (0778) 27-1247
227	村国支店	〒915-0084 越前市村国2丁目10番28号 TEL (0778) 24-0663
229	武生北支店	〒915-0805 越前市芝原3丁目6番33号 TEL (0778) 22-8851

今立エリア		住所・電話番号
● 234	今立支店	〒915-0264 越前市野間町31号3番地の1 TEL (0778) 43-0880
235	岡本支店	〒915-0232 越前市新在家町11号13番地 TEL (0778) 43-0840

南条エリア		住所・電話番号
● 232	南条支店	〒919-0223 南条郡南越前町東大道32号18番地の1 TEL (0778) 47-3050
231	河野支店 (南条支店店舗内)	
233	今庄支店 (南条支店店舗内)	

高志エリア		住所・電話番号
● 122	松岡支店	〒910-1132 吉田郡永平寺町松岡築2丁目103番地 TEL (0776) 61-1200
143	福井医大支店 (松岡支店店舗内)	
322	永平寺支店	〒910-1212 吉田郡永平寺町東古市12号60番地の1 TEL (0776) 63-3220
321	上志比支店 (永平寺支店店舗内)	

奥越エリア		住所・電話番号
● 300	大野支店	〒912-0083 大野市明倫町8番12号 TEL (0779) 66-2600
302	大野支店三番通出張所	〒912-0026 大野市要町3番14号 TEL (0779) 66-3450
311	勝山支店	〒911-0804 勝山市元町1丁目10番40号 TEL (0779) 88-0003

店番	住所・電話番号	
330	丸岡支店	〒910-0245 坂井市丸岡町谷町2丁目13番地 TEL (0776) 66-2300
332	坂井町支店	〒919-0523 坂井市坂井町新庄3丁目103番地 TEL (0776) 66-0074

店番	春江エリア		住所・電話番号
● 334	春江支店	〒919-0453	坂井市春江町江留上中央4番地の13 TEL (0776) 51-0020
336	春江支店春江西出張所	〒919-0418	坂井市春江町江留下高道3番地 TEL (0776) 51-4842

店番	三国エリア		住所・電話番号
● 340	三国支店	〒913-0041	坂井市三国町覚善第5号28番地1 TEL (0776) 82-6688
341	三国支店三国本町出張所 (三国支店店舗内)		

店番	あわらエリア		住所・電話番号
● 333	金津支店	〒919-0628	あわら市大溝2丁目31番5号 TEL (0776) 73-0550
344	芦原支店	〒910-4104	あわら市温泉1丁目301番地 TEL (0776) 77-2422

店番	敦賀エリア		住所・電話番号
● 400	敦賀支店	〒914-0054	敦賀市白銀町11番地1号 TEL (0770) 25-4444
401	敦賀港支店 (敦賀支店店舗内)		
403	粟野支店	〒914-0124	敦賀市市野々町1丁目118番地 TEL (0770) 25-4310
404	松島支店	〒914-0802	敦賀市呉竹町2丁目12番16号 TEL (0770) 25-6444
411	美浜支店	〒919-1138	三方郡美浜町河原市第9号15番地の2 TEL (0770) 32-1117
414	三方支店	〒919-1303	三方上中郡若狭町三方40号1番地 TEL (0770) 45-1231

店番	若狭エリア		住所・電話番号
● 420	小浜支店	〒917-0072	小浜市千種1丁目1番10号 TEL (0770) 52-2111
425	名田庄支店 (小浜支店店舗内)		
424	東小浜支店	〒917-0241	小浜市遠敷54号1番地10 TEL (0770) 56-1110
431	上中支店	〒919-1542	三方上中郡若狭町ノ口第36号6番地の1 TEL (0770) 62-1200
432	おおい支店	〒919-2111	大飯郡おおい町本郷126号8番地の3 TEL (0770) 77-1080
433	高浜支店	〒919-2225	大飯郡高浜町宮崎76号2番地の1 TEL (0770) 72-3800
632	舞鶴支店 (高浜支店店舗内)		

石川県

店番	金沢エリア		住所・電話番号
● 500	金沢支店	〒920-0031	金沢市広岡3丁目1番1号 TEL (076) 231-4235
502	金沢支店金沢東山出張所 (金沢支店店舗内)		
504	泉野支店	〒921-8034	金沢市泉野町5丁目3番5号 TEL (076) 243-8321
505	野々市支店	〒921-8817	野々市市横宮町5番1号 TEL (076) 248-4221
506	金沢医科大学病院支店	〒920-0265	河北郡内灘町字大学1丁目1番地 TEL (076) 286-3221
507	金沢西インター支店	〒921-8005	金沢市間明町1丁目246番地 TEL (076) 291-3441
509	上荒屋支店	〒921-8065	金沢市上荒屋1丁目319番地 TEL (076) 269-4411
511	松任支店	〒924-0865	白山市倉光1丁目105番地 TEL (076) 276-0121

店番	住所・電話番号	
521	小松支店	〒923-0926 小松市龍助町101番地 TEL (0761) 22-2801
531	大聖寺支店	〒922-0036 加賀市大聖寺一本橋町15番地の3 TEL (0761) 72-1740

富山県

店番	富山エリア		住所・電話番号
● 560	富山支店	〒939-8281	富山市今泉西部町6番地の4 TEL (076) 491-8800
562	富山南支店 (富山支店店舗内)		
561	新庄支店	〒930-0985	富山市田中町5丁目1番3号 TEL (076) 492-4161

店番	住所・電話番号	
570	高岡支店	〒933-0878 高岡市東上関329番地 TEL (0766) 24-4141

滋賀県

店番	大津エリア		住所・電話番号
● 650	大津支店	〒520-0854	大津市鳥居川町6番26号 TEL (077) 537-2910
651	草津支店	〒525-0031	草津市若竹町5番5号 草津第一ホテル1階 TEL (077) 564-7667

その他都府県

東京支店・名古屋支店・京都支店にキャッシュコーナーはございません。

店番	住所・電話番号	
600	東京支店	〒101-0044 千代田区鍛冶町1丁目8番8号 TEL (03) 3253-2861
610	大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 TEL (06) 6251-8501
620	名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目18番24号 TEL (052) 221-8811
630	京都支店	〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦薬師下ル手洗水町678番地 TEL (075) 221-7831

その他

・小浜支店名田庄営業室とふくぎんKuruzaを除く下記店舗等につきましては、通常の預金等の業務はお取扱いしておりません。
 ・ふくぎんプラザ福井は大和支店、ふくぎんプラザ鯖江はアル・プラザ鯖江、敦賀支店ほけんプラザは敦賀支店、WILはハピリン、ふくぎんKuruzaはふくぎんKuruza(車内)にATMを設置しております。

店番	住所・電話番号	
048	振込専用支店	〒918-8152 福井市今市町66号7番地1 TEL (0776) 38-0086
191	ジュラチック王国支店	〒918-8152 福井市今市町66号7番地1 ※実際の店舗を持たないインターネット支店です。 TEL (0120) 291-191
	小浜支店名田庄営業室	〒917-0382 大飯郡おおい町名田庄久坂第3号68番2 ※毎週水曜日のみ営業する出張所です。 TEL (0770) 52-2111
	ふくぎんプラザ福井	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 大和田支店2階 TEL (0120) 291-808
	ふくぎんプラザ鯖江	〒916-0038 鯖江市下河端町16字下町16番1 アル・プラザ鯖江2階 TEL (0120) 291-005
	敦賀支店 ほけんプラザ	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 敦賀支店内 TEL (0120) 291-303
	WIL	〒910-0006 福井市中央1丁目2番1号 ハピリン2階 TEL (0776) 25-0280
	ふくぎん Kuruza	(毎週月曜日) 旧福井銀行上志比支店駐車場 (毎週水曜日) コメリ ハード＆グリーン 美山店さま駐車場 (毎週水曜日) 河野診療所・河野シーサイド温泉ゆづりばえさま前駐車場 (毎週木曜日) 今庄児童遊園さま前駐車場 ※移動店舗車による営業を行っております。 ※12/31～1/3、祝祭日は休業といたします。

営業拠点数の推移 (単位: 店)

	2019年3月末日		2020年3月末日	
	支店	出張所	支店	出張所
福井県	72	6	72	6
石川県	9	1	9	1
富山県	4	-	4	-
(北陸三県)	85	7	85	7
東京都	1	-	1	-
愛知県	1	-	1	-
滋賀県	2	-	2	-
京都府	1	-	1	-
大阪府	1	-	1	-
(都市地区)	6	-	6	-
合計	91	7	91	7

店舗外キャッシュコーナーのご案内 (2020年7月末)

*稼働日・稼働時間は設置場所によって異なります。

☑ 企業内設置

福井市 (中心部エリア)
福井市役所
JR 福井駅
ハピリン
福井西武
福井西武新館
福井大学
ワイプラザグルメ館松本店
町屋
パロー町屋店
フレンドタウン福井

福井市 (東部エリア)
パリオ
パリオ東口
和田東
成和
ゲンキー四ツ居店前
パロー米松店
福井県立病院
福井県済生会病院
心臓血圧センター
ハーツ志比口
美山

福井市 (西部エリア)
福井総合クリニック
福井総合病院
金井学園
ハーツ学園
パロー豊岡店
パワーセンターワッセ
MEGAドン・キホーテUNY福井店
飯塚
パローやしろ店
A コープやしろ
PLANT-3 清水店
越廼

福井市 (南部エリア)
春日
福井商工会議所ビル内
福井赤十字病院
福井厚生病院前
ワイプラザグルメ館福井南店
ワイプラザグルメ館江守店
ハーツ羽水
ベル1階
ベル2階
フクビ化学前

福井市 (北部エリア)
アピタ福井大和田店
エルパ
ワイプラザ
パロー新田塚店
高木
中央市場

鯖江市
パロー東鯖江店前
パワーシティ鯖江ワイプラザ
ハーツさばえ
アル・プラザ鯖江
JR 鯖江駅
鯖江市役所
ワイプラザグルメ館東鯖江
ハーツ神中店

越前町
メルシ
宮崎
ヤマキシ朝日店

越前市
シピィ
パロー武生店
パロー国高店
武生薬市
ワイプラザグルメ館武生南
パロー今立店
JR 武生駅
武生商工会議所

☑ 福井村田製作所
☑ アイシン・エイ・ダブリュ工業

池田町
池田町役場

南越前町
河野
今庄駅

永平寺町
福井大学医学部附属病院A棟
福井大学医学部附属病院中央診療棟
福井大学医学部附属病院前
上志比
永平寺観光案内所

大野市
かじ惣リブレ店
パローこぶし通り店
ヴィオ
ホームセンターみつわ九頭龍店

勝山市
勝山サン・プラザ
ヤササキホームセンター勝山店
福井勝山総合病院

坂井市
西長田
アミ
ハーツはるえ
春江病院
ピアゴ丸岡
ハニー丸岡店前
PLANT-2 坂井
イーザ
三国南本町

あわら市
パロー金津店前

敦賀市
アル・プラザ敦賀
パロー木崎店前
ハーツつるが
パロー敦賀店
ワイプラザグルメ館敦賀店前
アピタ敦賀店
市立敦賀病院
敦賀市役所
JR 敦賀駅

☑ 東洋紡
敦賀港

美浜町
☑ 関西電力美浜発電所

若狭町
レピア
PLANT-2 上中

小浜市
小浜ショッピングセンター
パロー小浜店
公立小浜病院
小浜市役所
ハーツわかさ

おおい町
☑ 関西電力大飯発電所
名田庄

高浜町
☑ 関西電力高浜発電所

金沢市
JR 金沢駅

川北町
PLANT-3 川北

内灘町
金沢医大病院内

津幡町
PLANT-3 津幡

射水市
真生会富山病院

キャッシュコーナー (CD・ATM) 数の推移

		2019年3月末日		2020年3月末日	
		設置箇所数	設置台数	設置箇所数	設置台数
福井銀行	店舗内CD・ATM	77	169	76	168
	店舗外CD・ATM	128	150	125	147
合計		205	319	201	315
コンビニ提携	セブン銀行	23,367	25,152	23,389	25,216
	イーネット	12,377	12,750	12,349	12,754
	ローソン銀行	13,441	13,476	13,330	13,367

提携ATM

FITネット
FITネットATM (北國銀行・富山第一銀行ATM)
入出金手数料無料でご利用いただけます。

セブン銀行
セブン銀行ATM (セブン-イレブン・イトーヨーカドー等に設置のATM)
出金手数料無料でご利用いただけます。
※入金はお取り扱いできません。

上記のほか、以下のコンビニ等に設置のATMでもご利用いただけます。

セブン銀行
セブン銀行ATM (セブン-イレブン・イトーヨーカドー等に設置のATM)

イーネット
イーネットATM (ファミリーマート等に設置のATM)

ローソン銀行
ローソン銀行ATM (ローソン等に設置のATM)

イーオン銀行
イーオン銀行ATM (イーオンモール等に設置のATM)

ゆうちょ銀行
ゆうちょ銀行ATM